

## 【巻末資料】

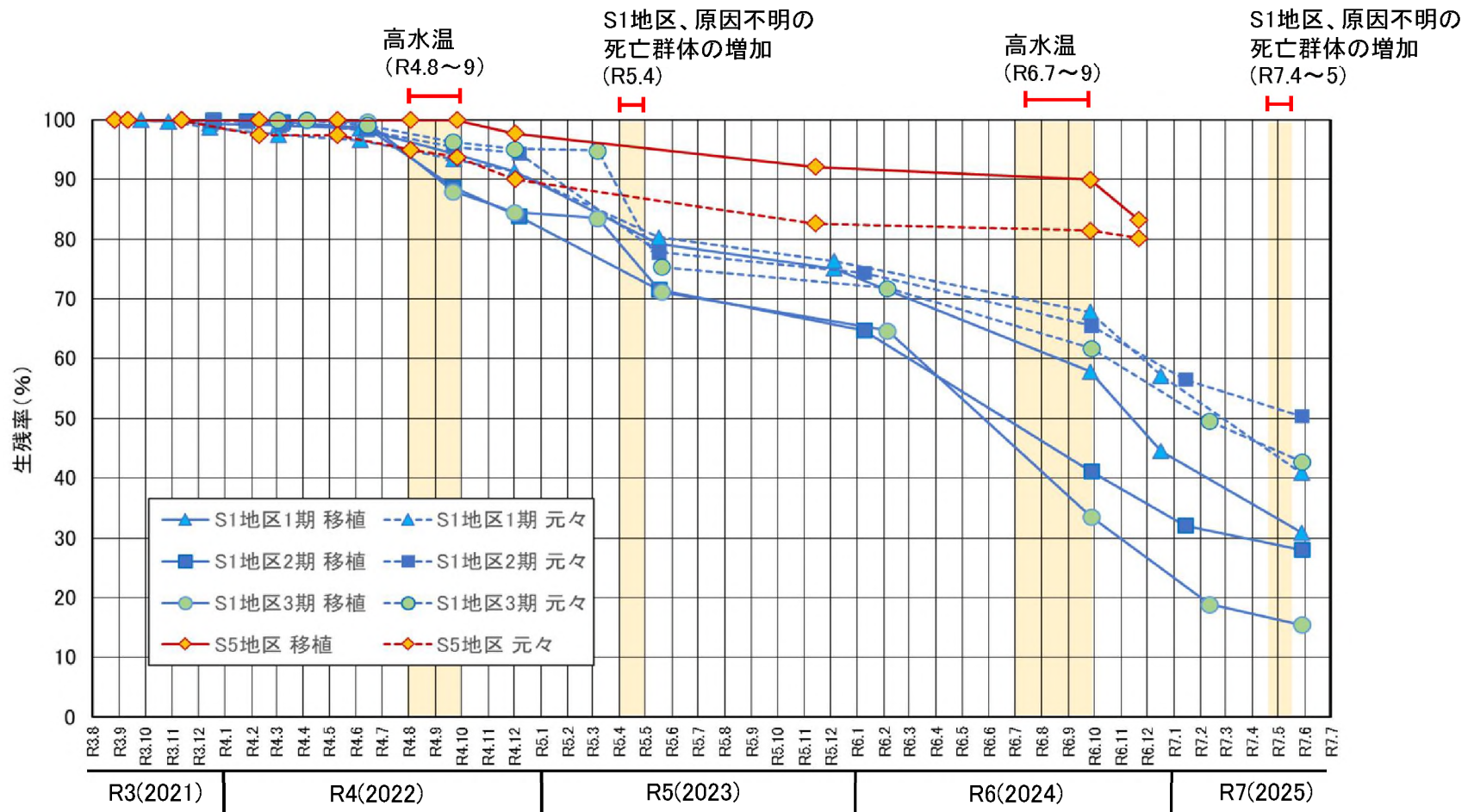
- ① S1地区とS5地区の小型サンゴ類の生残率の違いの評価に関する情報について
- ② 移植後モニタリング観察枠の詳細結果
- ③ 移植したサンゴ類におけるモニタリング枠の状況について

# ① S1地区とS5地区の小型サンゴ類の生残率の違いの評価に関する情報について

1. S1地区及びS5地区の令和7年5月の臨時調査までの生残率の推移
2. 属別特性の整理(移植2年後から3年後にかけての属別の死亡状況の確認)について
3. 対照区でのサンゴ類の生息状況について
4. その他の生息環境条件
5. 移植先の選定理由等について
6. ハビタットマップ(地形)について

# 1. S1地区及びS5地区の令和7年5月の臨時調査までの生残率の推移

- 移植から3年が経過したS1地区及びS5地区について、令和7年5～6月の臨時調査までの生残率の推移を整理した。
- S5地区では生残率は良好に推移しており、これと比較して、S1地区では生残率が低下している傾向がみられた。
- S5地区では、元々生息していたサンゴ類よりも移植したサンゴ類の方が生残率が高い傾向がみられる一方、S1地区では、元々生息していたサンゴ類よりも移植したサンゴ類の方が生残率が低い傾向がみられた。
- S1地区において、生残率が大きく低下しているタイミング(変曲点)は、図中に示すとおり、高水温(R4.8～9及びR6.7～9)と、原因不明の死亡群体の増加(R5.4及びR7.4～5)であることが伺えた。



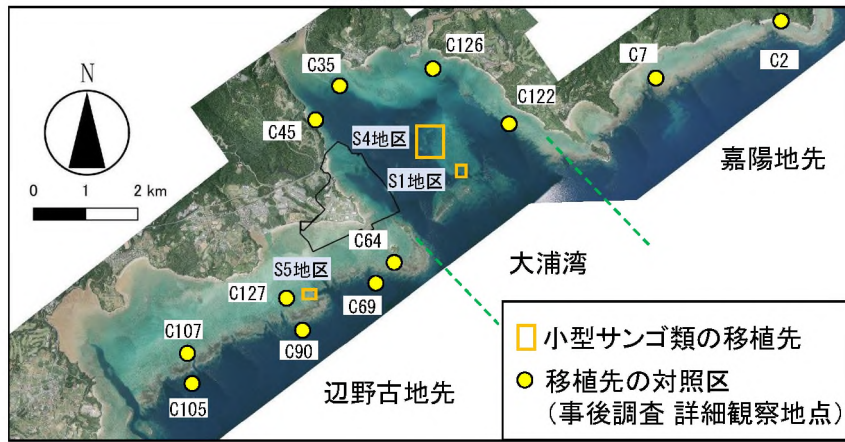
S1地区及びS5地区の令和7年5～6月の臨時調査までの生残率の推移



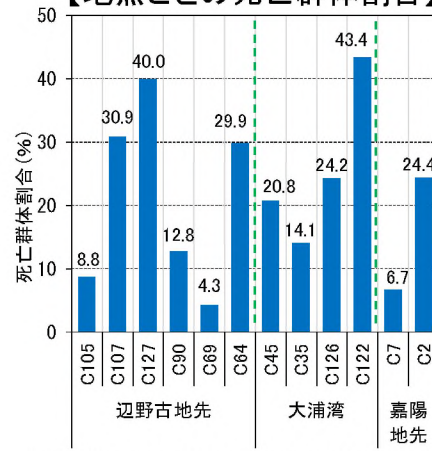
### 3. 対照区でのサンゴ類の生息状況について【第54回環境監視等委員会資料2 巻末p.7を再録】

- 移植先の対照区として、事後調査における詳細観察地点(5m枠、嘉陽地先・大浦湾・辺野古地先に合計12地点)を設けているところ、第42回委員会で整理した令和4年夏季・冬季から、令和6年冬季までのサンゴ類の群体数の推移を整理し、令和6年夏期の高水温による影響について検討することとした。
- また、令和6年夏期の高水温による影響を受けていない直近の調査回として令和5年冬季の調査結果を用いて、令和5年冬季から令和6年冬季にかけての地区ごとの死亡群体割合の推移を求めた。その結果、最大約43.4%(平均約21.7%)の死亡群体割合の増加がみられ、調査地点の水深との関係では、水深5m以浅の地点で死亡群体割合が高い状況が確認された。

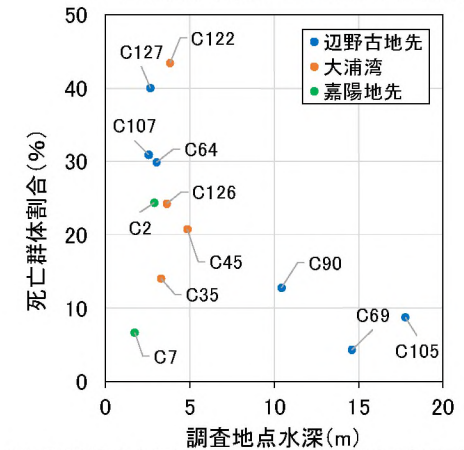
【対照区の位置】



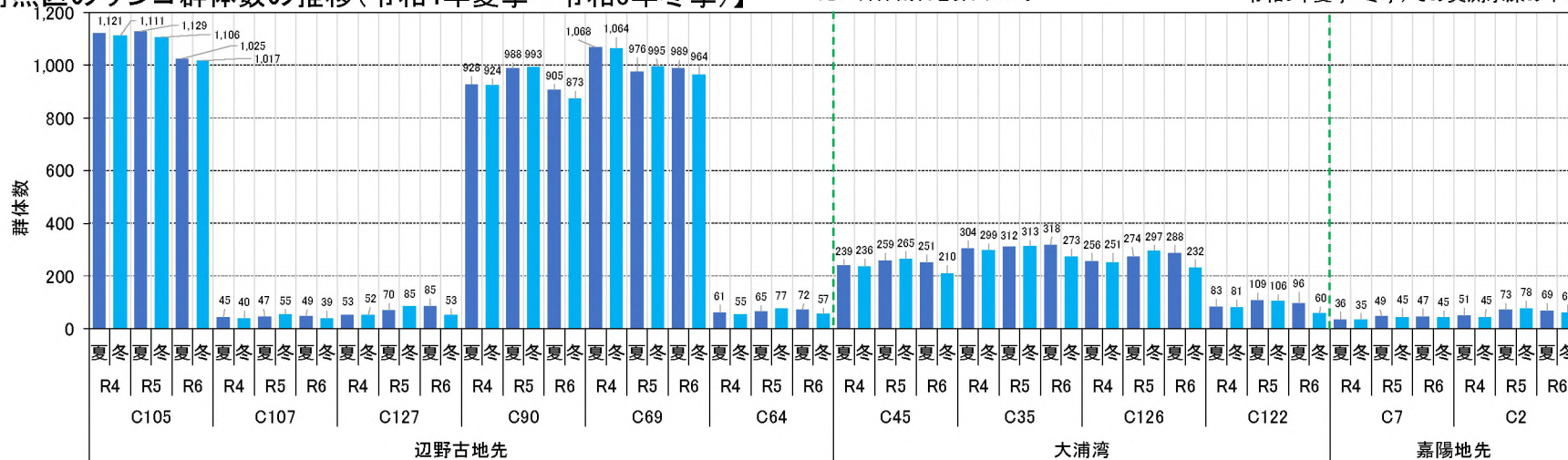
【地点ごとの死亡群体割合】



【死亡群体割合と水深の関係】



【対照区のサンゴ群体数の推移(令和4年夏季~令和6年冬季)】

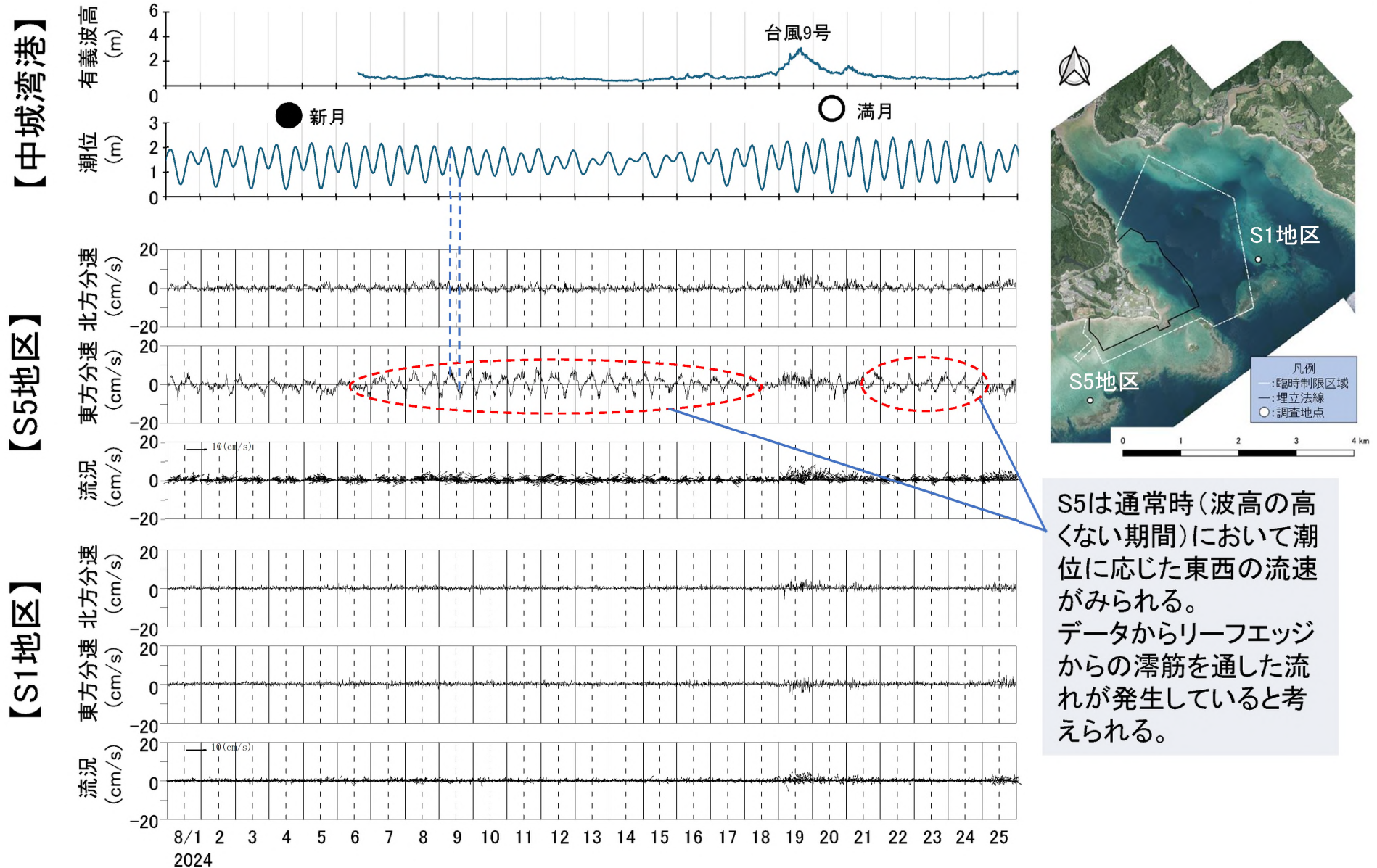


注) 令和5年冬季から令和6年冬季にかけての死亡群体割合を算出した。

注) 調査地点水深は、直近の3回分の調査(令和5年冬季、令和6年夏季・冬季)での実測水深の平均値を用いた。

## 4. その他の生息環境条件(流速)

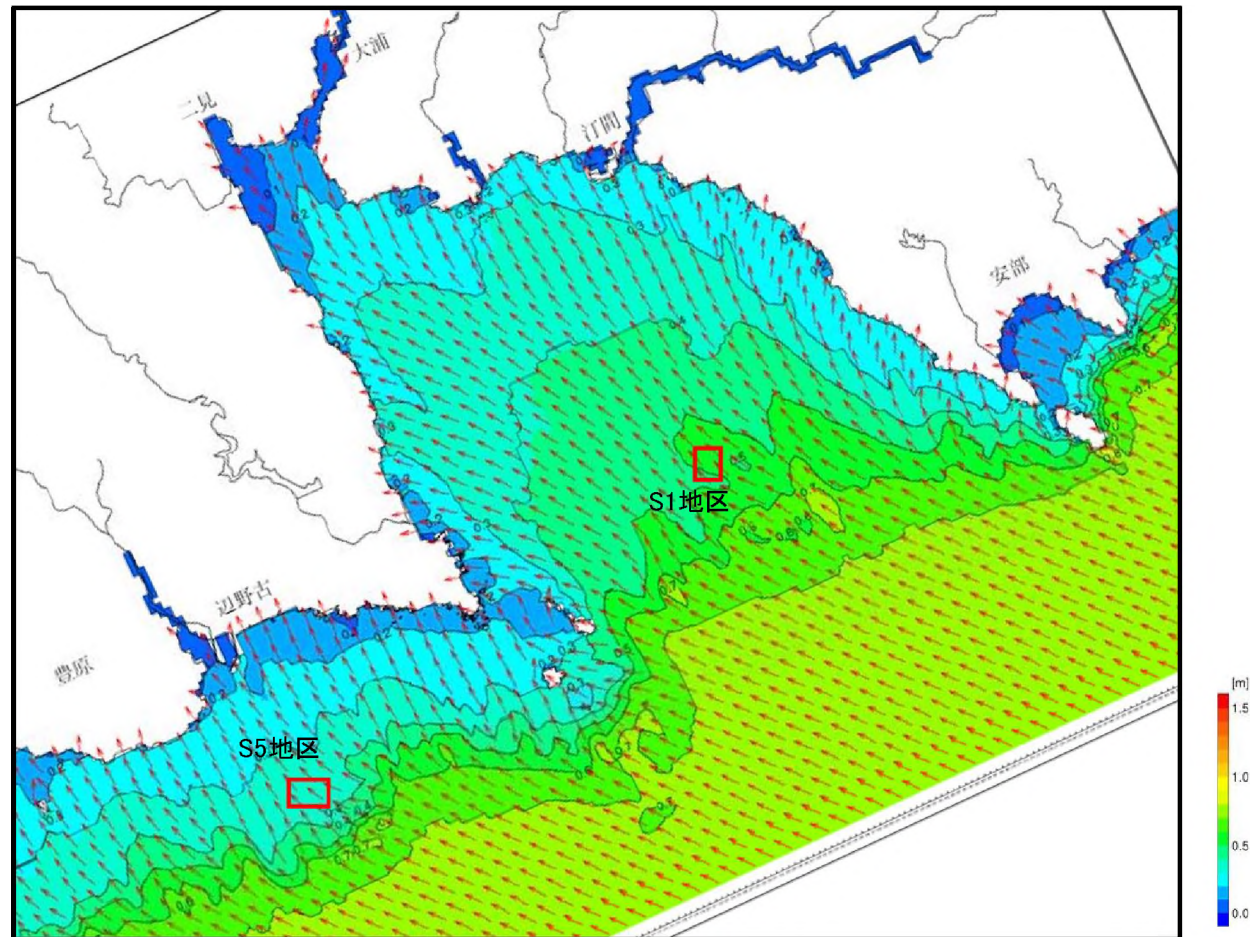
- 2024年8月1日～25日におけるS1地区とS5地区の流速を示す。
- S5地区は通常時において潮位に応じた流れがみられ、リーフエッジから滞筋を通した流れの存在が示唆される。



※ 有義波高は、全国港湾海洋波浪情報網(ナウファス、国土交通省)の速報値を使用。潮位は、潮位表(気象庁)の天文潮位を使用。

#### 4. その他の生息環境条件(波浪)

- 波浪(環境保全図書p.6-14-125)を示す。
- 波浪は、S1地区の方がS5地区よりもやや高い特徴を示す。

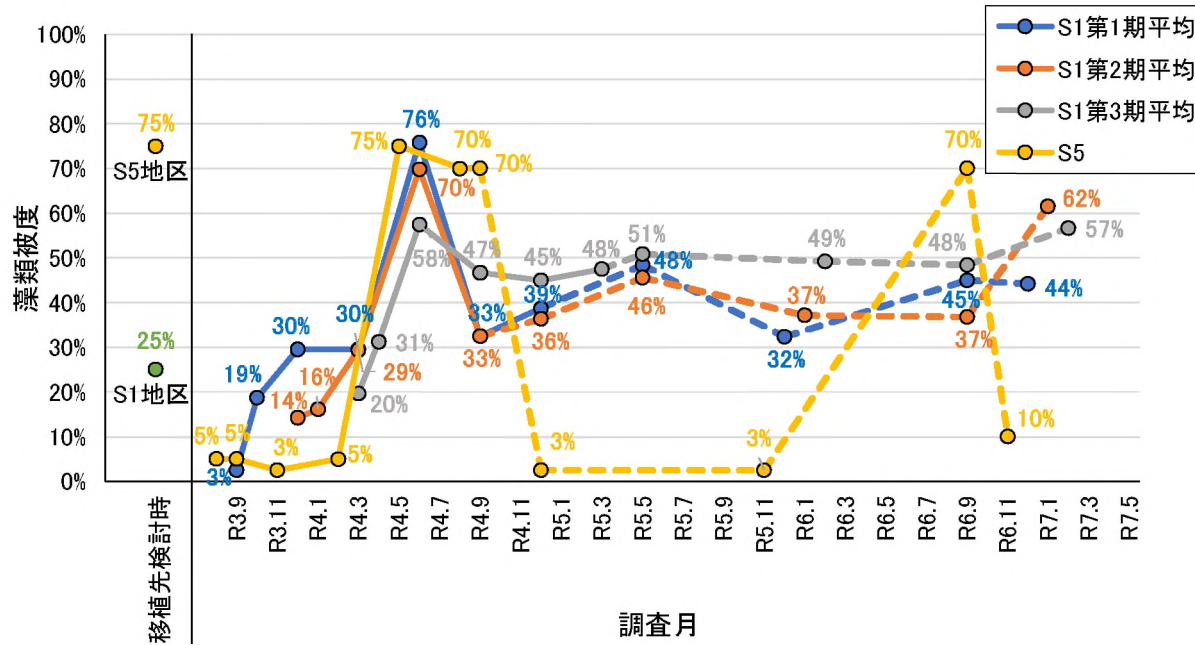


夏季の代表波浪 (波高分布)

## 4. その他の生息環境条件(海藻類)

○ 近年S1地区において、移植先検討時に比べ海藻類の被度が高い傾向が見られている。増加傾向にある藻類としては、特に大型藻類(ガラモ)となる。

### ■ 海藻類被度の整理(各地区の移植直後から3年後までの調査結果から抽出)

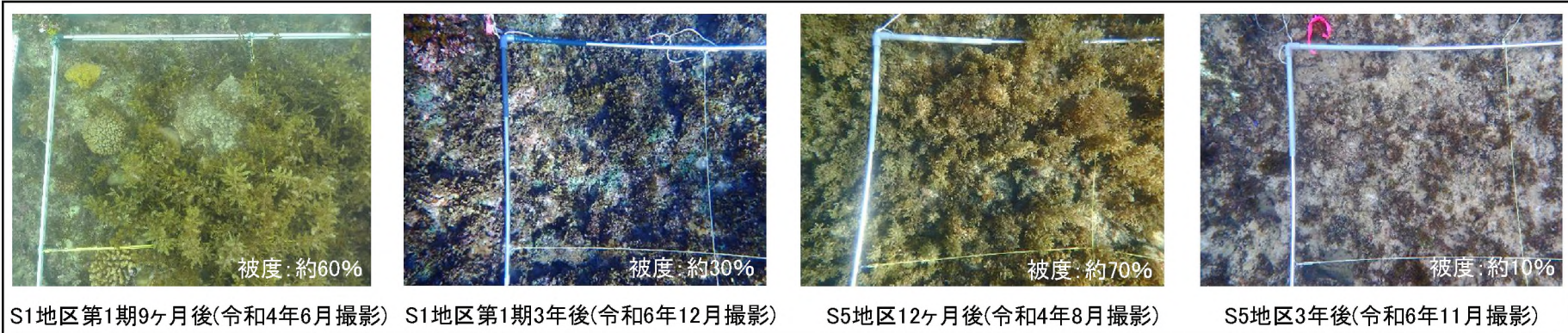


※移植先検討時の藻類被度は、ハビタットマップより抽出(第26回委員会資料にて掲載)。

※移植先検討時以外の各プロットは、各調査回の枠ごとの現地調査結果の値を平均したものである。

※各期1年後までの調査は3ヶ月に一度実施しており、季節的な変動を捉えられると考えられることから推移を実線で示したが、それ以降は調査頻度が減少しているため、破線で示した。

### ■ 大型藻類の生育状況

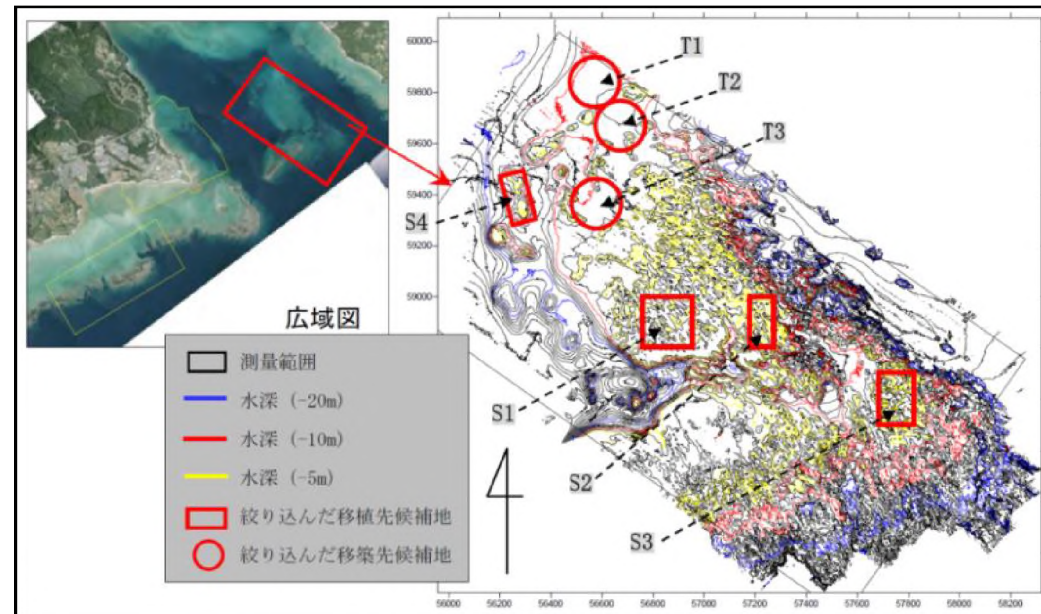


## 5. 移植先の選定理由等について【第12回環境監視等委員会資料3 p.15を再録】

### 1. サンゴ類の移植について

#### (1) 移植・移築方針

- N-2護岸周辺に生息するサンゴ類について、調査の結果確認された、被度が5%以上で0.2ha以上の規模を持つ分布域(I地区)に生息する10cm以上のサンゴ類約830群体の移植に係る特別採捕許可申請を行い、許可が得られ次第、移植を実施する予定。
- 当該小型サンゴ類は、環境保全図書の記載(6-14-163頁等)や平成27年7月の第4回環境監視等委員会資料「サンゴ類に関する環境保全措置【サンゴ類の移植・移築計画】」を踏まえ、これまで得られた現地調査結果の情報や、沖縄県のサンゴ移植マニュアル等の既往資料の情報を踏まえながら、環境が類似し、同様なサンゴ類が生息するとともに、移植先のサンゴ群生への影響が少ないと認められる場所を選定し、最も適切と考えられる手法による移植を実施。さらに、その後の生息状況を事後調査する考え。



移植・移築先範囲の設定

## 5. 移植先の選定理由等について【第14回環境監視等委員会資料2-2 p.4を再録】

### 1. サンゴ類の移植について

#### (1) 移植・移築方針

- N-2護岸周辺に生息するサンゴ類について、調査の結果確認された、被度が5%以上で0.2ha以上の規模を持つ分布域(I地区)に生息する10cm以上のサンゴ類約830群体、長径が1mを超える大型サンゴ類22群体及びショウガサンゴ1群体の移植に係る特別採捕許可申請を行い、許可が得られ次第、移植を実施する予定。
- 当該小型サンゴ類は、環境保全図書の記載(6-14-163頁等)や平成27年7月の第4回環境監視等委員会資料「サンゴ類に関する環境保全措置【サンゴ類の移植・移築計画】」を踏まえ、これまで得られた現地調査結果の情報や、沖縄県のサンゴ移植マニュアル等の既往資料の情報を踏まえながら、環境が類似し、同様なサンゴ類が生息するとともに、移植先のサンゴ群生への影響が少ないと認められる場所を選定し、最も適切と考えられる手法による移植を実施。さらに、その後の生息状況を事後調査する考え。

#### (2) 移植・移築先選定方針

- サンゴ類の移植先は、環境影響評価書で提案されている「中干瀬」及び「辺野古崎前面海域」を対象として、サンゴ群生の種別生息状況、群体数、生息環境(地形、水深、生息基盤、水質、波当たり・流れの状況、食害生物、付着藻類、移植可能スペースの有無)を考慮し、具体の移植・移築先を決定する。なお、具体の移植・移築に当たっては、できる限り分散させ、食害や病気などによるリスクの軽減に努める考え。
- 第12回委員会における委員から「ハビタットマップをきちんと作って、そのハビタットマップの中で同様の一連の場所、一連のハビタットであるような場所のうちの代表的な地点についてモニタリングを行い、同様の環境であるかどうかを調べる。それから周辺の生物の分布がどうであるかということ調べる。面的に調べてその中に位置づけることが重要です。」との指摘を踏まえ移植先の検討を行った。特に、I地区の移植先としては、第12回委員会における委員からの「辺野古崎の陸側の方がむしろI地区には環境の場としては近いように思う」との指摘を踏まえて移植先の検討を行った。

## 5. 移植先の選定理由等について【第17回環境監視等委員会資料4 p.5を再録】

### 1. 移植先選定方針

- サンゴ類の移植先は、環境保全図書に記載のとおり、環境が類似し、同様なサンゴ種が生息するとともに、移植先のサンゴ群生への影響が少ないと予測される場所として、環境保全図書が例示している移植先想定地域の「中干瀬」及び「辺野古崎前面海域」のうち、同様な地形・地質と考えられる地点においてマンタ調査により底質状況、水深帯を観察し、移植元の環境と類似した場所において、定点調査を行い、サンゴ類の分布状況を確認。
- また、移植元と移植先の環境が同様であることを確実にするため、波、潮流、塩分濃度、水温、濁度、基盤の状態といった物理・化学的な環境について長期的・定量的なデータを記録するためモニタリングを行い、さらにサンゴ類の生息環境(生物相、地形、底質、波浪)を包括的に示すハビタットマップにおいてサンゴ類の生息場として環境が類似しているといえる場所を移植先として選定。

### 2. 移植について

- 第14回、第15回環境監視等委員会において、今回移植する小型サンゴ類は、ハビタットマップにおける場が一致していること、3. 移植元と移植先の比較(1/3)及び3. 移植元と移植先の比較(3/3)にあるとおり、同様のサンゴ類が生息し、サンゴ群生の種別生息状況、群体数及び生息環境(地形、水深、生息基盤、水質(水温、塩分濃度、濁度)、波当たり、流れの状況、食害生物、付着藻類)等により環境が類似していることなどを考慮し、移植可能スペースが存在している次頁の図に示す「中干瀬」のS1地区及び「辺野古崎前面海域」のS5地区を移植先とした。
- 具体の移植にあたっては、できる限り分散させ食害や病気などによるリスクの軽減に努める。
- なお、那覇空港滑走路増設事業において、海底から0.5～1m未満程度の場所に移植したサンゴ類は、時化や台風による波浪で移動した礫や転石が衝突して被災したものの、海底から1～2m程度の高台に移植したサンゴ類はそのような被災を免れたことが確認されていることから、移植先で固定・静置する位置は、できる限り、堆積物が溜まりやすい窪地ではなく、周囲の海底よりも1～2m程度高い場所を選ぶ。

## 5. 移植先の選定理由等について 【第17回環境監視等委員会資料4 p.6を再録】

### ■ 移植元と移植先範囲

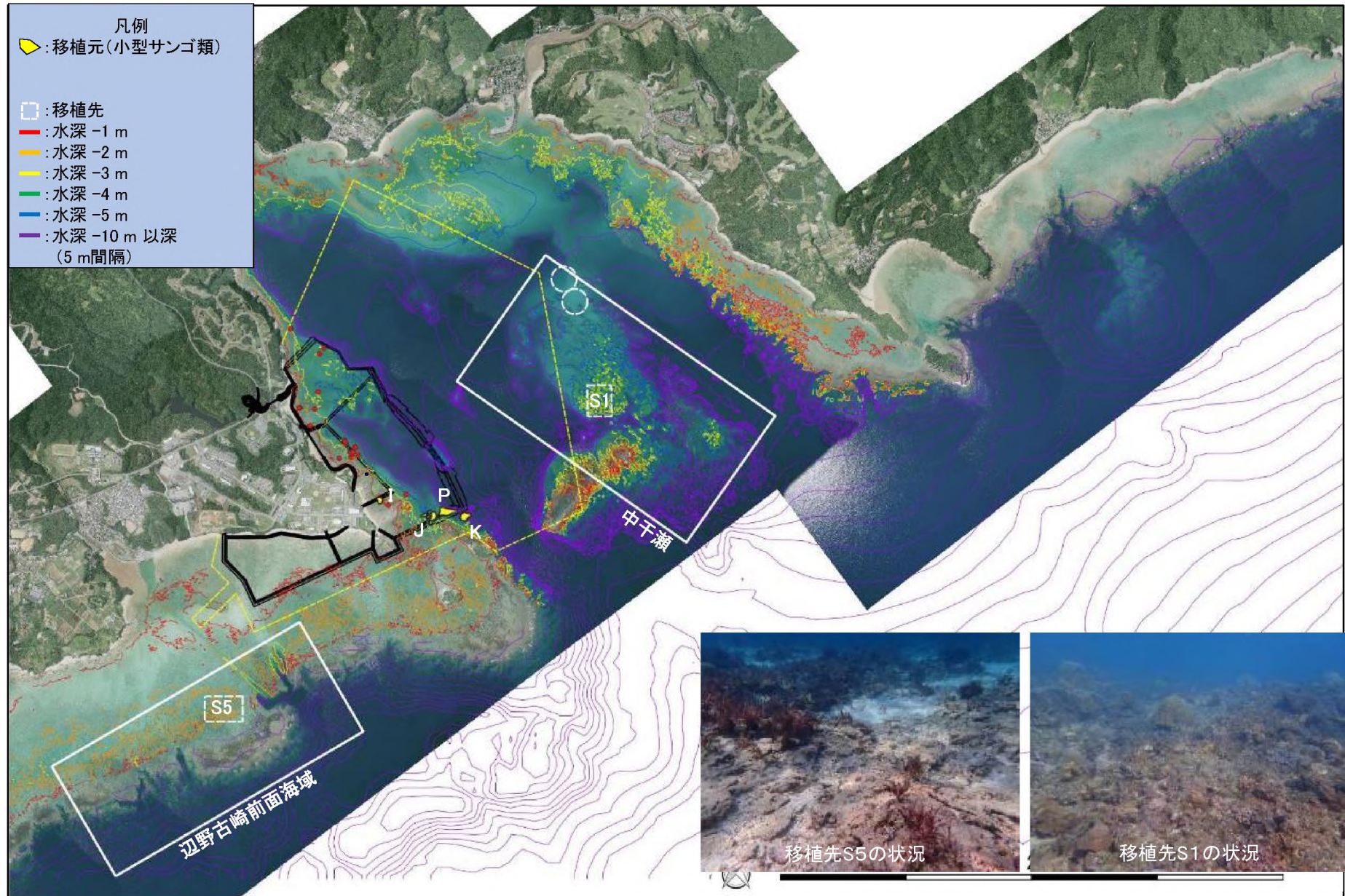




図 移植先範囲の設定

## 5. 移植先の選定理由等について【第17回環境監視等委員会資料4 p.7を再録】

### ■ 移植元と移植先の比較(1/3)


項目	移植元(大浦湾) I 地区
群体数	小型サンゴ約 830群体
地形 水深	岩盤/砂礫 D. L. -1~-2m程度
種別生息状況	サンゴ被度は5%未満であり、主な出現種はキクメイシ属、カメノコキクメイシ属、トゲキクメイシ属 海藻類被度は 5%~25% 海草類被度は 5%未満
生息場所	
水質	水温: 19.1~30.3°C 塩分: 33.0~35.0psu (観測日: 平成30年1月6日~10月8日)
波当たり	・通常時は静穏~0.5m程度であり、 砕波するような波当たりが強い状況は確認されていない ・波高: 0.1m(観測日: 平成30年11月7日)
流れの状況	・通常時は、弱い流れを感じる程度 ・底面流速(海底面上1m): 0.0~27.1cm/sec (観測日: 平成30年1月6日~10月8日)
食害生物	確認なし
付着藻類	確認なし
浮遊懸濁物質量	1mg/L以下
備考	移植対象分布域 約0.2ha


項目	移植先(辺野古崎前面海域)候補(S5)
群体数	小型サンゴ約 8,500群体
地形 水深	岩盤/礫 D. L. -2~-3m程度
種別生息状況	サンゴ被度は50%未満であり、主な出現種はハマサンゴ属、キクメイシ属、トゲキクメイシ属 海藻類被度は 50%未満 海草類被度は 5%~25%
生息場所	
水質	水温: 21.1~30.4°C 塩分: 33.6~35.0psu (観測日: 平成30年4月9日~10月2日)
波当たり	・通常時は静穏~0.5m程度であり、 砕波するような波当たりが強い状況は確認されていない ・波高: 0.1m(観測日: 平成30年11月7日)
流れの状況	・通常時は、弱い流れを感じる程度 ・底面流速(海底面上1m): 0.2~12.5cm/sec (観測日: 平成30年4月9日~10月2日)
食害生物	確認なし
付着藻類	確認なし
浮遊懸濁物質量	1mg/L以下
備考	移植可能スペース 約3.0ha

※ 全体的に見れば移植元と移植先とで海藻類被度・海草類被度に相違があるように見えるが、実際の個別のサンゴ類の移植に当たっては、個別のサンゴ類それぞれについて類似の被度の場所に移植する予定。

## 5. 移植先の選定理由等について 【第17回環境監視等委員会資料4 p.8を再録】


### ■ 移植元と移植先の比較 (2/3)

項目	移植元(大浦湾)J地区
群体数	小型サンゴ約 7,910群体
地形 水深	岩盤 D. L. -3~-6m程度
種別生息状況	サンゴ被度は5%~25%であり、主な出現種はコモンサンゴ属、キクメイシ属、アナサンゴ属 海藻類被度は 50%未満 海草類被度は 5%未満
生息場所	
水質	水温: 20.7~30.1℃ 塩分: 32.4~34.9psu (観測日:平成30年2月28日~10月8日)
波当たり	・通常時は静穏~0.5m程度であり、 砕波するような波当たりが強い状況は確認されていない ・波高: 0.3m(観測日:平成30年11月7日)
流れの状況	・通常時は、弱い流れを感じる程度 ・底面流速(海底面上1m): 0.0~177.5cm/sec (観測日:平成30年2月28日~10月8日)
食害生物	確認なし
付着藻類	確認なし
浮遊懸濁物質量	1mg/L以下
備考	移植対象分布域 約0.5ha

項目	移植元(大浦湾)P地区
群体数	小型サンゴ約 18,810群体
地形 水深	岩盤 D. L. -3~-11m程度
種別生息状況	サンゴ被度は5%~25%であり、主な出現種はキクメイシ属、ハマサンゴ属、コモンサンゴ属 海藻類被度は 50%未満 海草類被度は 5%未満
生息場所	
水質	水温: 20.7~30.1℃ 塩分: 32.4~34.9psu (観測日:平成30年2月28日~10月8日)
波当たり	・通常時は静穏~0.5m程度であり、 砕波するような波当たりが強い状況は確認されていない ・波高: 0.4m(観測日:平成30年11月7日)
流れの状況	・通常時は、弱い流れを感じる程度 ・底面流速(海底面上1m): 0.0~177.5cm/sec (観測日:平成30年2月28日~10月8日)
食害生物	確認なし
付着藻類	確認なし
浮遊懸濁物質量	1mg/L以下
備考	移植対象分布域 約0.6ha

## 5. 移植先の選定理由等について【第17回環境監視等委員会資料4 p.9を再録】

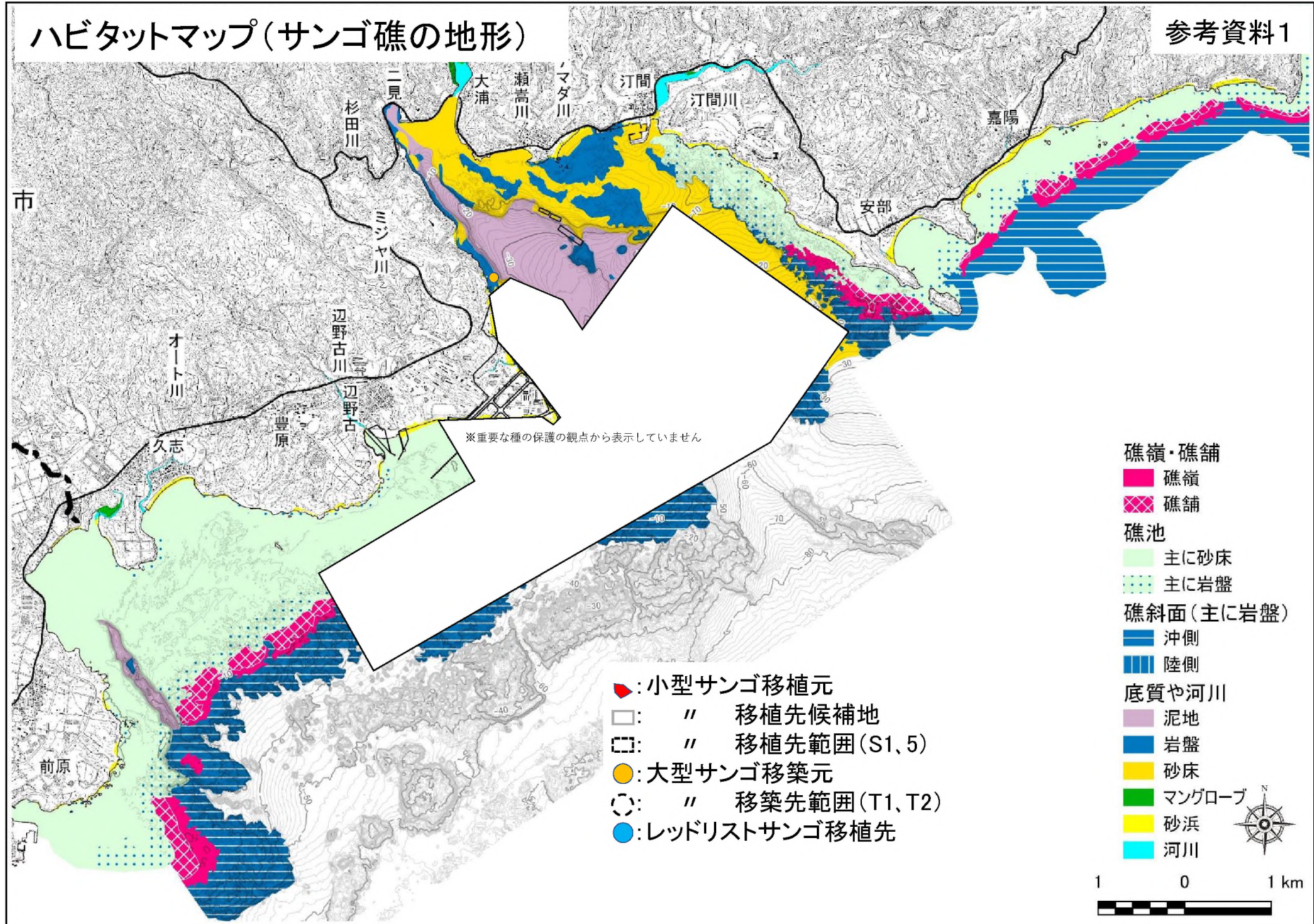
### ■移植元と移植先の比較(3/3)

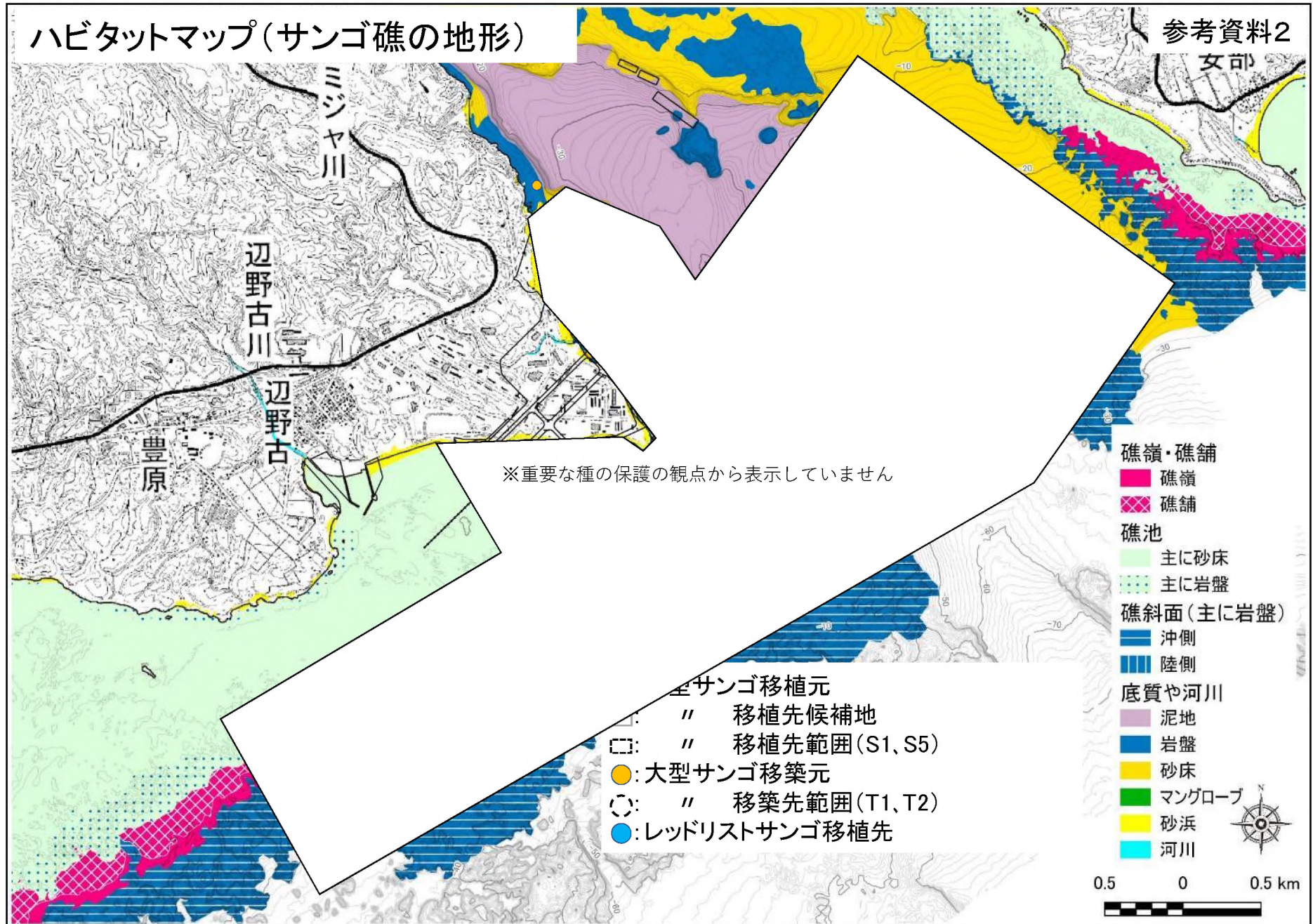
項目	移植元(大浦湾)K地区
群体数	小型サンゴ約 12,040群体
地形 水深	岩盤 D. L. -3~-14m程度
種別生息状況	サンゴ被度は5%~25%であり、主な出現種はハマサンゴ属、キクメイシ属、アナサンゴ属 海藻類被度は 5%~25% 海草類被度は 5%未満
生息場所	
水質	水温: 20.7~30.1°C 塩分: 32.4~34.9psu (観測日:平成30年2月28日~10月8日)
波当たり	・通常時は静穏~0.5m程度であり、 砕波するような波当たりが強い状況は確認されていない ・波高: 0.3m(観測日:平成30年11月7日)
流れの状況	・通常時は、弱い流れを感じる程度 ・底面流速(海底面上1m): 0.0~177.5cm/sec (観測日:平成30年2月28日~10月8日)
食害生物	確認なし
付着藻類	確認なし
浮遊懸濁物質量	1mg/L以下
備考	移植対象分布域 約0.4ha

項目	移植先(中干瀬)候補(S1)
群体数	小型サンゴ約 2,300群体
地形 水深	岩盤 D. L. -2~-15m程度
種別生息状況	サンゴ被度は5%~25%であり、主な出現種はハマサンゴ属、ハナヤサイサンゴ属、キクメイシ属 海藻類被度は 5%~25% 海草類被度は 5%未満
生息場所	
水質	水温: 20.5~29.8°C 塩分: 33.3~34.9psu (観測日:平成30年1月6日~10月2日)
波当たり	・通常時は静穏~0.5m程度であり、 砕波するような波当たりが強い状況は確認されていない ・波高: 0.2m(観測日:平成30年11月6日)
流れの状況	・通常時は、弱い流れを感じる程度 ・底面流速(海底面上1m): 0.1~12.5cm/sec (観測日:平成30年1月6日~10月2日)
食害生物	確認なし
付着藻類	確認なし
浮遊懸濁物質量	1mg/L以下
備考	移植可能スペース 約1.9ha

※ 全体的に見れば移植元と移植先とで海藻類被度・海草類被度に相違があるように見えるが、実際の個別のサンゴ類の移植に当たっては、個別のサンゴ類それぞれについて類似の被度の場所に移植する予定。

6. 参考資料(1/6) 【第17回環境監視等委員会資料4 p.27を再録】

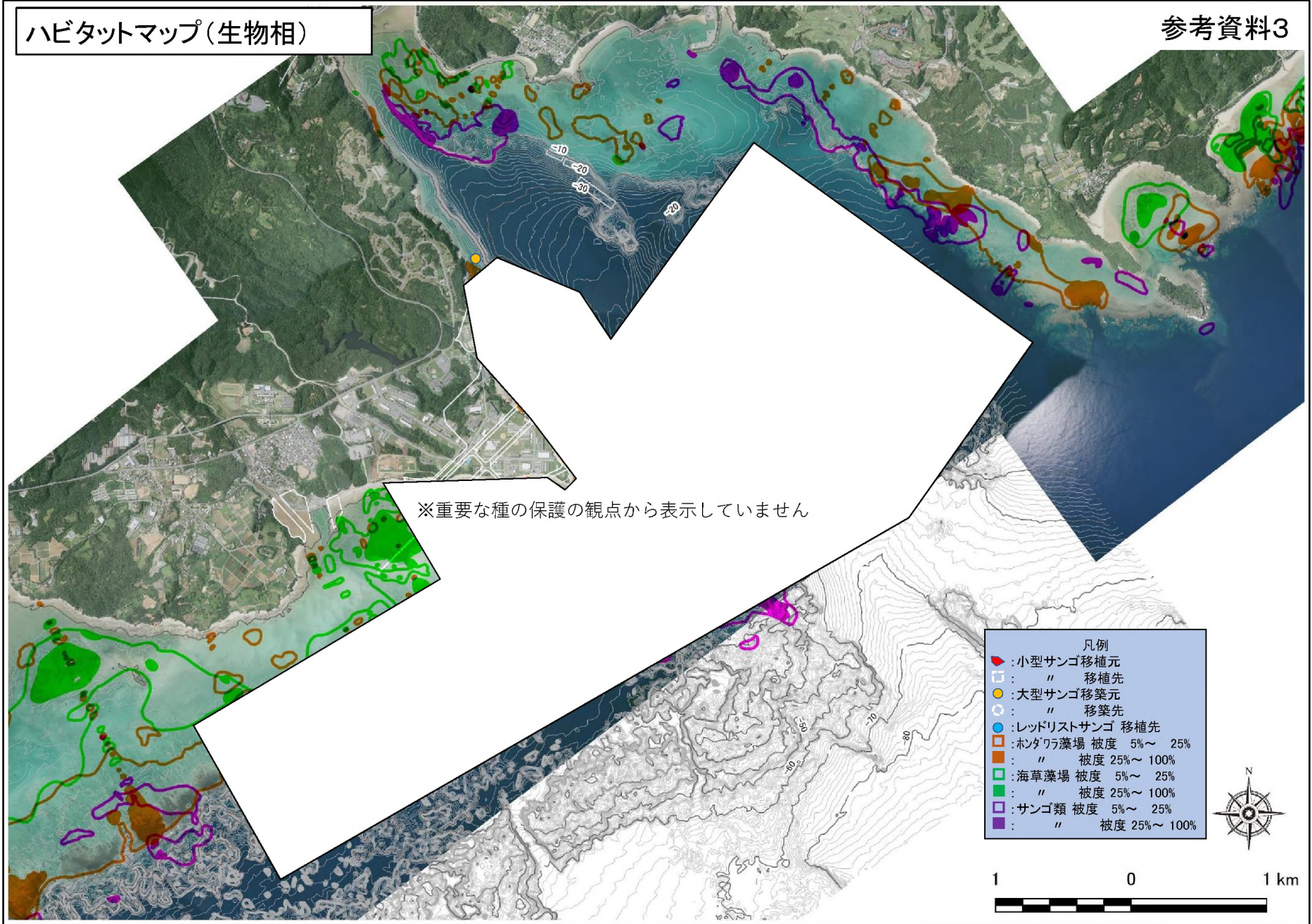




6. 参考資料(3/6) 【第17回環境監視等委員会資料4 p.29を再録】

参考資料3

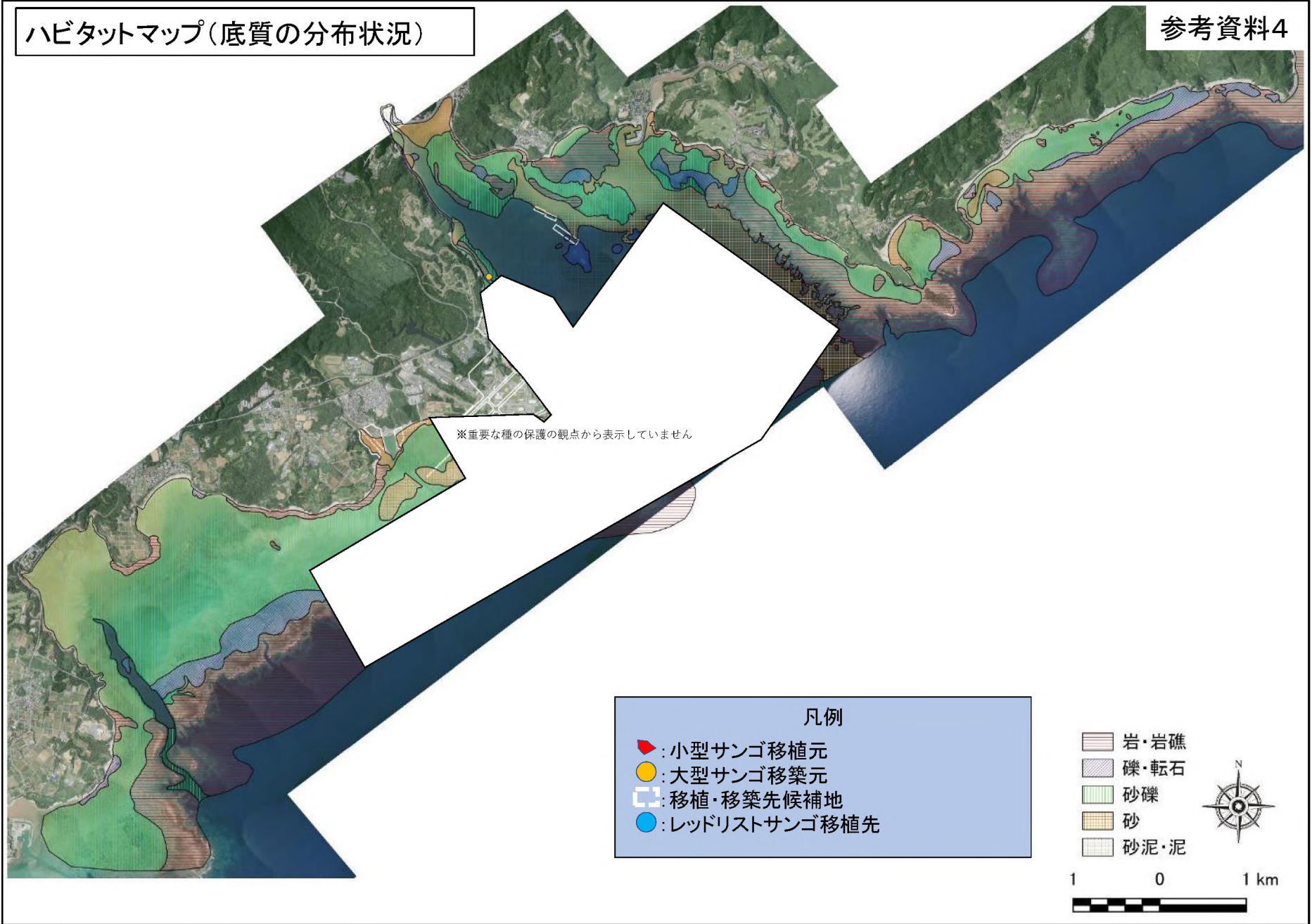
ハビタットマップ(生物相)



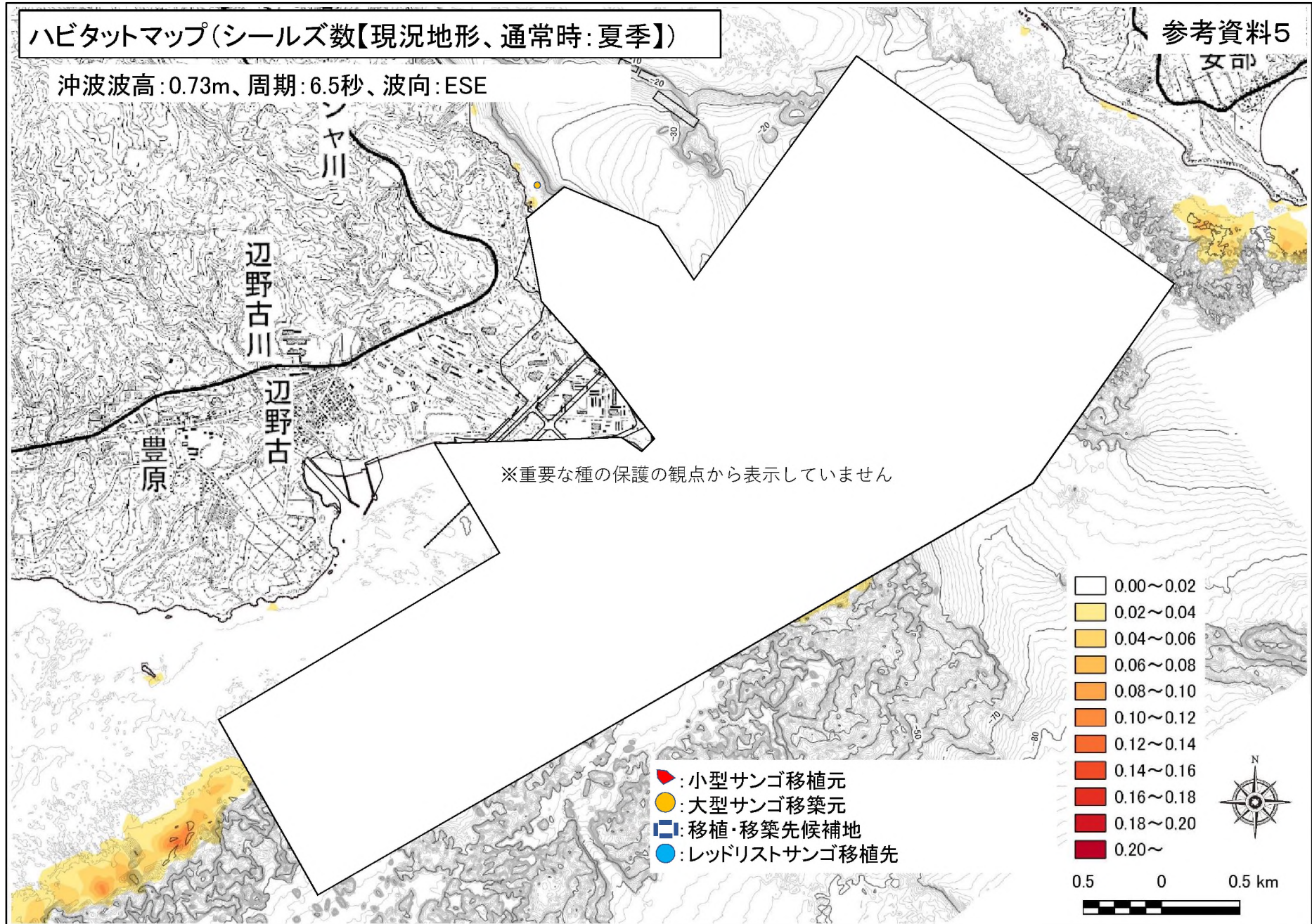
6. 参考資料(4/6) 【第17回環境監視等委員会資料4 p.30を再録】

参考資料4

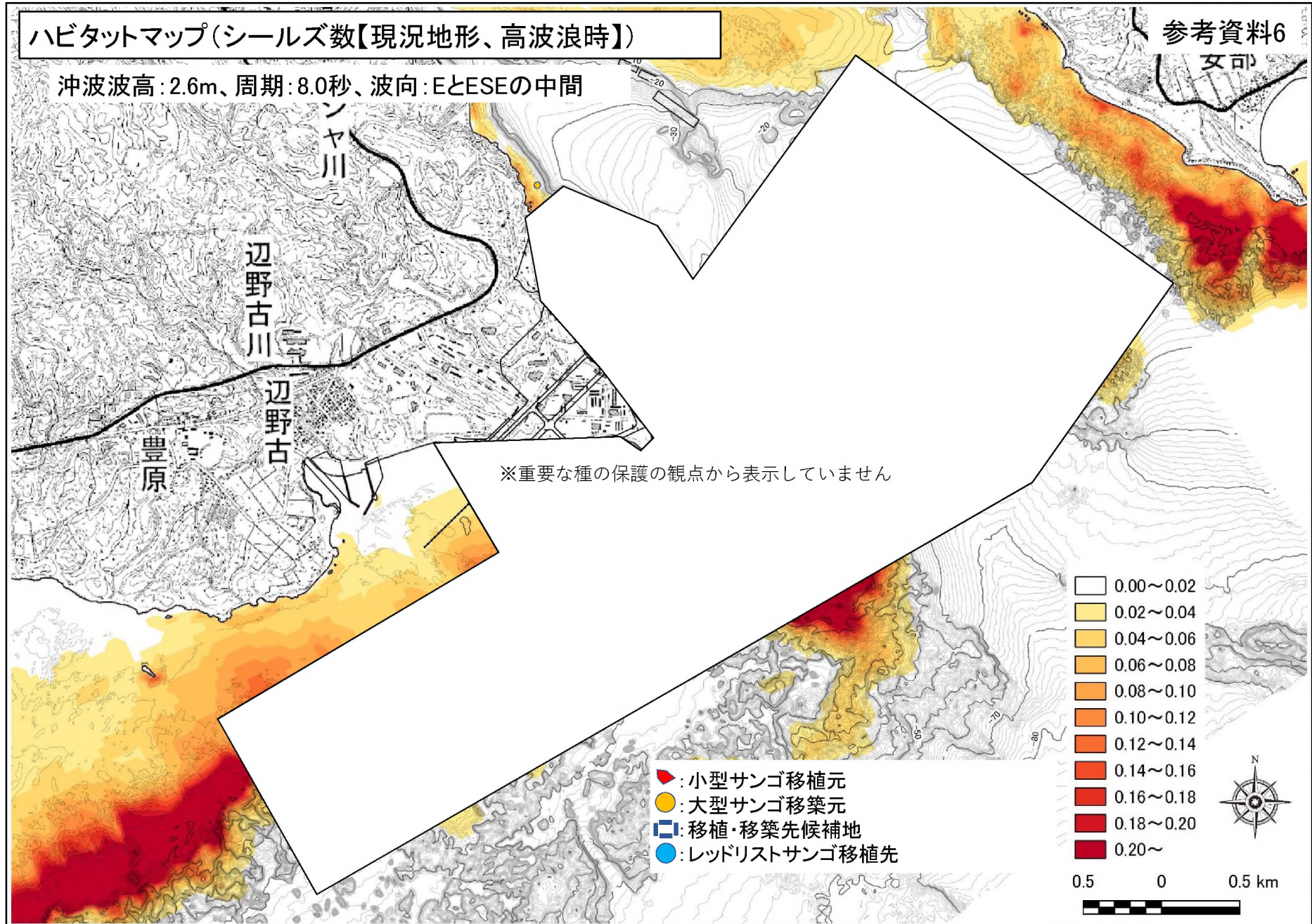
ハビタットマップ(底質の分布状況)



6. 参考資料(5/6) 【第17回環境監視等委員会資料4 p.31を再録】



6. 参考資料(6/6) 【第17回環境監視等委員会資料4 p.32を再録】



## ② 移植後モニタリング観察枠の詳細結果

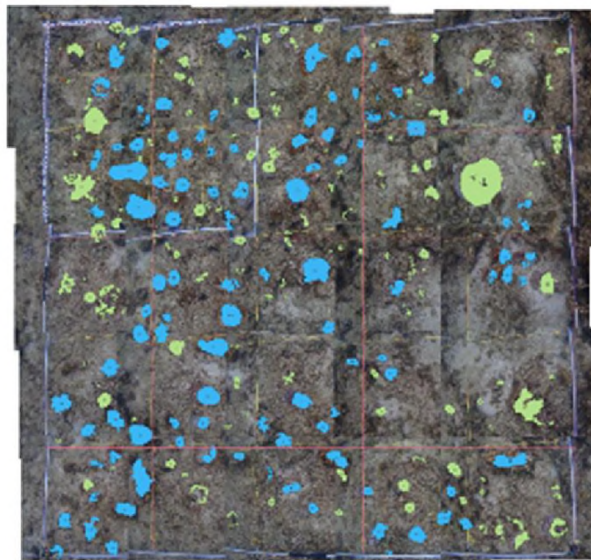
## 移植後モニタリング観察枠の詳細結果 (S4-31)

○現地調査の結果、移植した群体が約83.5%、元々生息していた群体が約91.4%の生残率で損傷程度は低かった。  
○枠の南西側には当該観察枠の外に生息していたと考えられるユビエダハマサンゴの断片が散在していた。

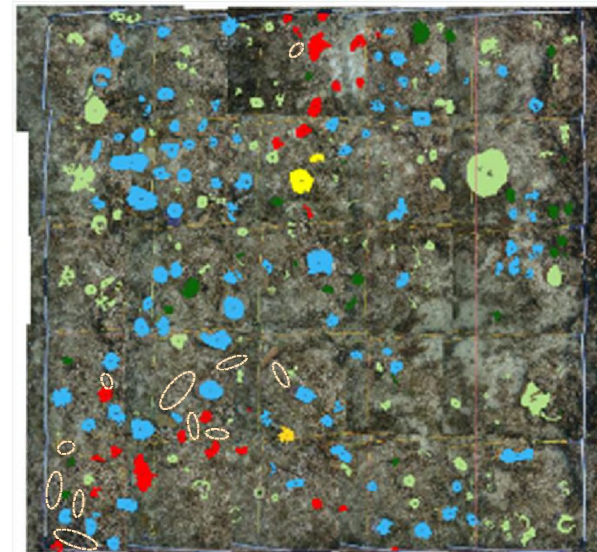
### 【サンゴ類の生残状況】

観察区分		接触前 (令和7年3月)	接触後 (令和7年5月)						生残率 (%)	
		生残	生残	損傷なし	一部消失	半分消失	大半消失	消失		死亡※
S4-31	移植したサンゴ類	109	91	88	2	1	0	17	1	83.5
	元々生息していたサンゴ類	152	139	139	0	0	0	9	4	91.4
	合計	261	230	227	2	1	0	26	5	88.1

※ 死亡は今回の接触と異なる要因により死亡したと考えられる群体を示す



接触前(移植3ヶ月後調査時)マッピング図  
[令和7年3月]



接触後(今回調査時)マッピング図  
[令和7年5月]

<span style="color: blue;">■</span>	移植したサンゴ類
<span style="color: lightgreen;">■</span>	元々生息していたサンゴ類
<span style="color: yellow;">■</span>	一部消失したサンゴ類
<span style="color: orange;">■</span>	半分消失したサンゴ類
<span style="color: red;">■</span>	消失したサンゴ類
<span style="color: darkgreen;">■</span>	死亡したサンゴ類
<span style="color: white; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">○</span>	断片化したサンゴ類

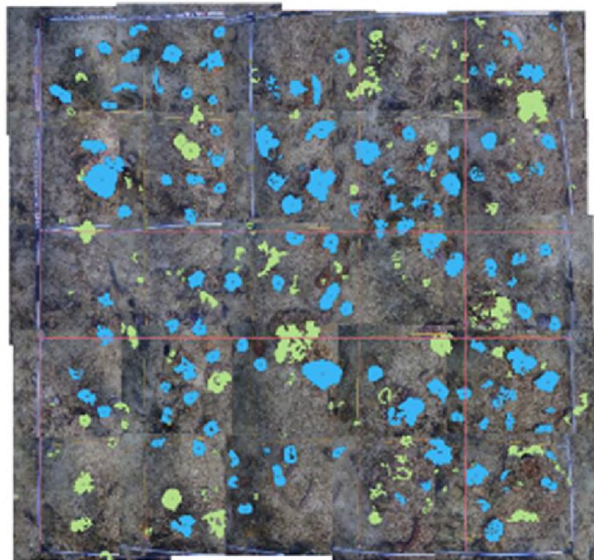
## 移植後モニタリング観察枠の詳細結果 (S4-32)

○現地調査の結果、移植した群体が95.0%、元々生息していた群体が約98.3%の生残率で損傷程度は低かった。  
○枠の全体に当該観察枠の外に生息していたと考えられるユビエダハマサンゴの断片が散在していた。

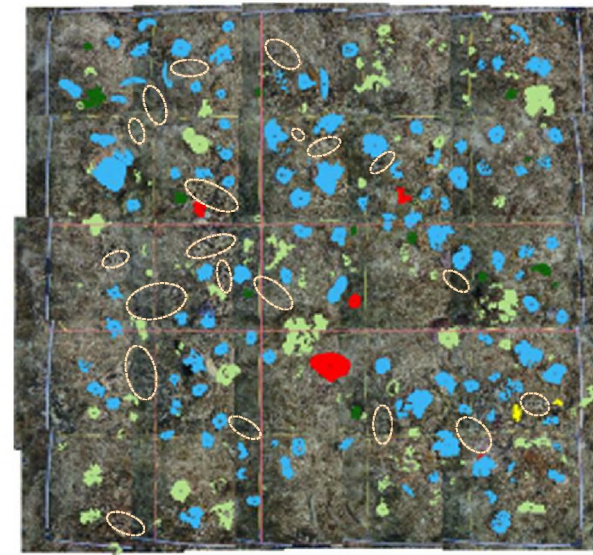
### 【サンゴ類の生残状況】

観察区分	接触前 (令和7年3月)	接触後 (令和7年5月)						生残率 (%)		
	生残	生残	損傷なし	一部消失	半分消失	大半消失	消失		死亡※	
S4-32	移植したサンゴ類	120	114	112	2	0	0	4	2	95.0
	元々生息していたサンゴ類	120	118	118	0	0	0	1	1	98.3
	合計	240	232	230	2	0	0	5	3	96.7

※ 死亡は今回の接触と異なる要因により死亡したと考えられる群体を示す



接触前(移植3ヶ月後調査時)マッピング図  
[令和7年3月]



接触後(今回調査時)マッピング図  
[令和7年5月]



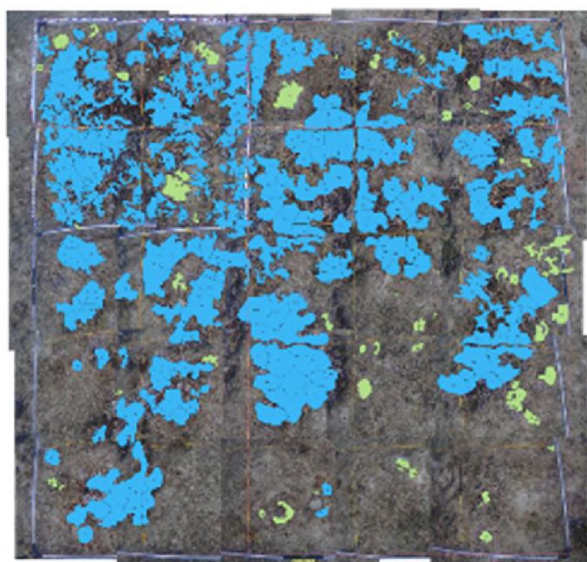
## 移植後モニタリング観察枠の詳細結果 (S4-33)

- 現地調査の結果、移植した群体が約82.8%、元々生息していた群体が約88.9%の生残率で損傷程度が低いように見えるが、損傷を受けた面積からすると中程度であった。
- 枠の全体に移植したユビエダハマサンゴの損傷した断片が散在して見られた。

### 【サンゴ類の生残状況】

観察区分	接触前 (令和7年3月)	接触後 (令和7年5月)						生残率 (%)		
	生残	生残	損傷なし	一部消失	半分消失	大半消失	消失		死亡※	
S4-33	移植したサンゴ類	244	202	145	19	10	28	42	0	82.8
	元々生息していたサンゴ類	54	48	48	0	0	0	6	0	88.9
	合計	298	250	193	19	10	28	48	0	83.9

※ 死亡は今回の接触と異なる要因により死亡したと考えられる群体を示す



接触前(移植3ヶ月後調査時)マッピング図  
[令和7年3月]



接触後(今回調査時)マッピング図  
[令和7年5月]



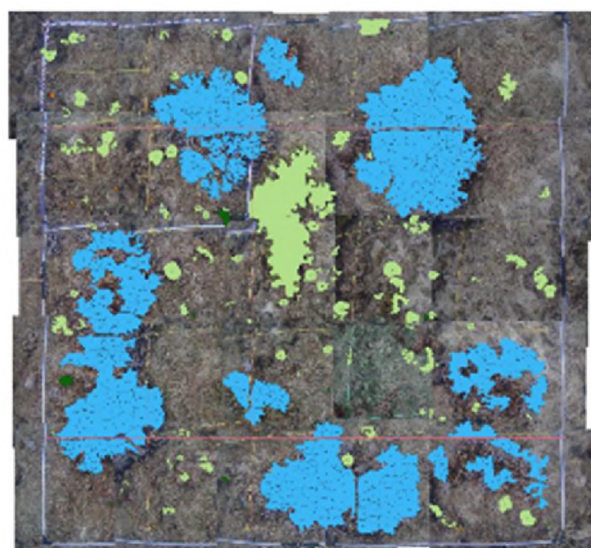
## 移植後モニタリング観察枠の詳細結果 (S4-34)

○現地調査の結果、移植したユビエダハマサンゴの群体が生残率約15.1%とかなり損傷が見られた。元々生息していた群体は約84.7%の生残率で損傷程度が低いように見えるが、損傷を受けていない小さな群体が多かった。  
○枠の西側にユビエダハマサンゴの損傷した断片が散在して見られた。

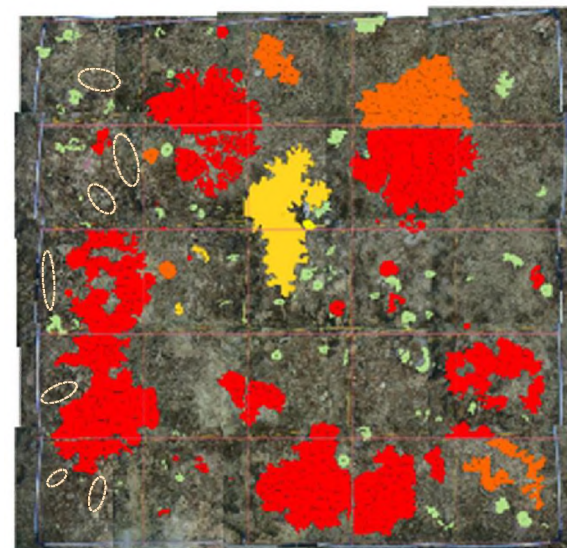
### 【サンゴ類の生残状況】

観察区分		接触前 (令和7年3月)	接触後 (令和7年5月)						生残率 (%)	
		生残	生残	損傷なし	一部消失	半分消失	大半消失	消失		死亡※
S4-34	移植したサンゴ類	238	36	0	0	0	36	202	0	15.1
	元々生息していたサンゴ類	124	105	99	1	3	2	19	0	84.7
	合計	362	141	99	1	3	38	221	0	39.0

※ 死亡は今回の接触と異なる要因により死亡したと考えられる群体を示す



接触前(移植3ヶ月後調査時)マッピング図  
[令和7年3月]



接触後(今回調査時)マッピング図  
[令和7年5月]



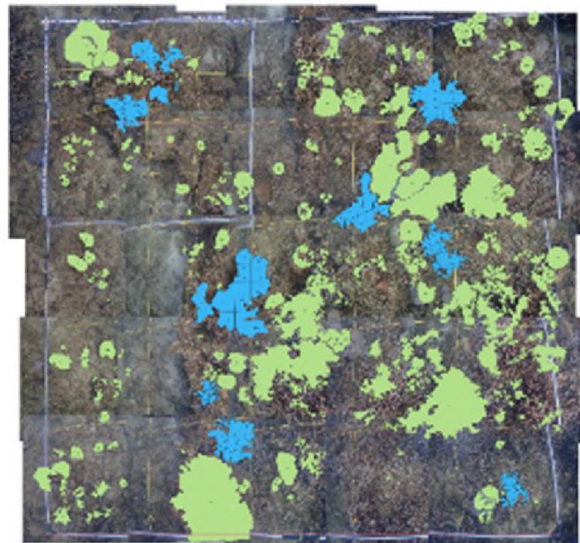
## 移植後モニタリング観察枠の詳細結果 (S4-35)

○現地調査の結果、移植した群体及び元々生息していた群体ともに損傷は確認されなかった。

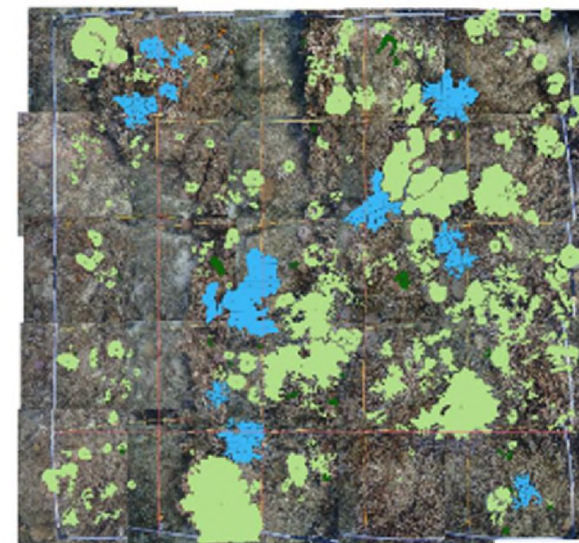
### 【サンゴ類の生残状況】

観察区分	接触前 (令和7年3月)	接触後 (令和7年5月)						生残率 (%)		
	生残	生残	損傷なし	一部消失	半分消失	大半消失	消失		死亡※	
S4-35	移植したサンゴ類	97	97	97	0	0	0	0	0	100.0
	元々生息していたサンゴ類	221	221	221	0	0	0	0	0	100.0
	合計	318	318	318	0	0	0	0	0	100.0

※ 死亡は今回の接触と異なる要因により死亡したと考えられる群体を示す



接触前(移植3ヶ月後調査時)マッピング図  
[令和7年3月]



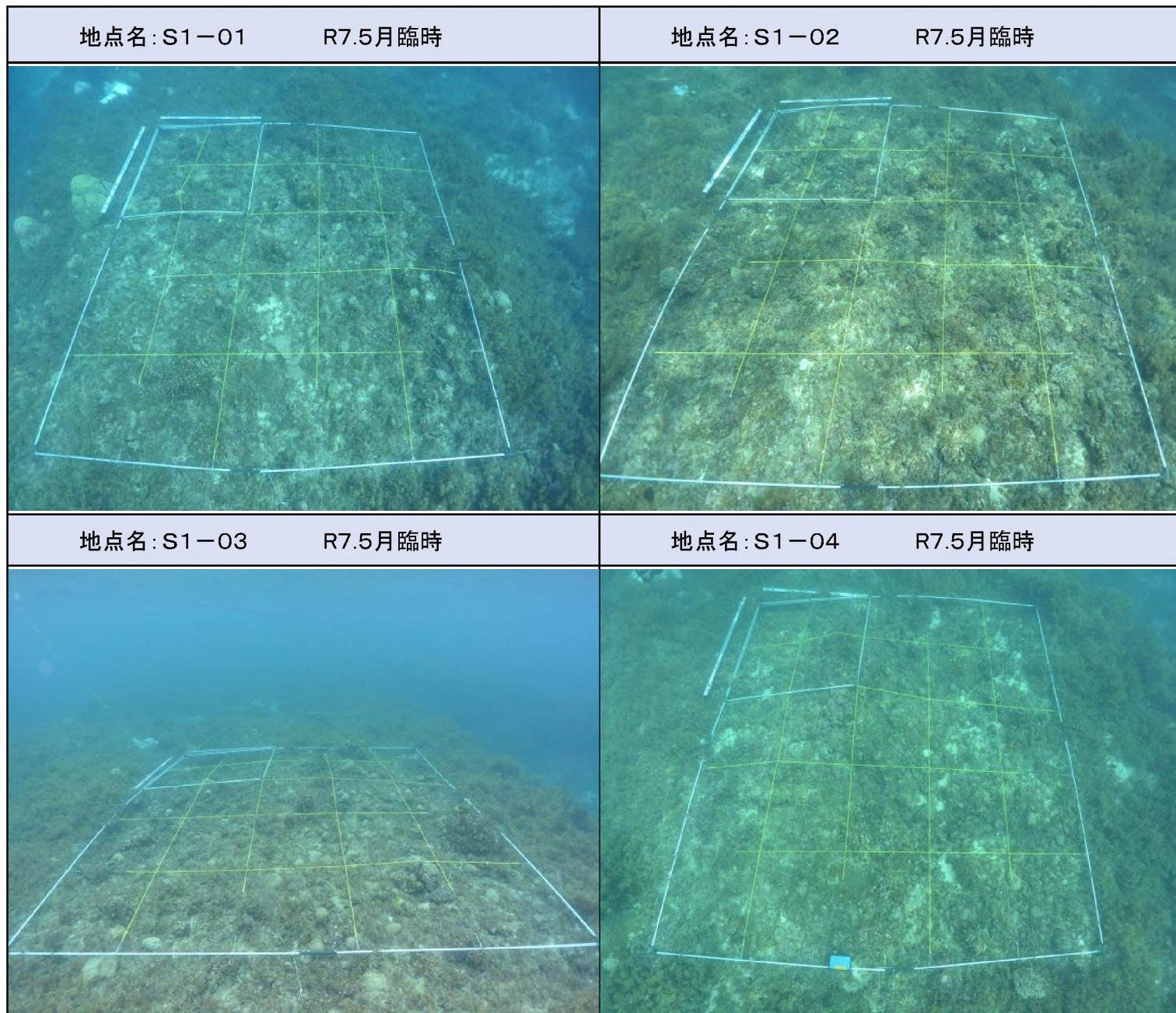
接触後(今回調査時)マッピング図  
[令和7年5月]

<span style="color: blue;">■</span>	移植したサンゴ類
<span style="color: green;">■</span>	元々生息していたサンゴ類
<span style="color: yellow;">■</span>	一部消失したサンゴ類
<span style="color: orange;">■</span>	半分消失したサンゴ類
<span style="color: red;">■</span>	大半消失したサンゴ類
<span style="color: red;">■</span>	消失したサンゴ類
<span style="color: green;">■</span>	死亡したサンゴ類
<span style="color: orange;">○</span>	断片化したサンゴ類

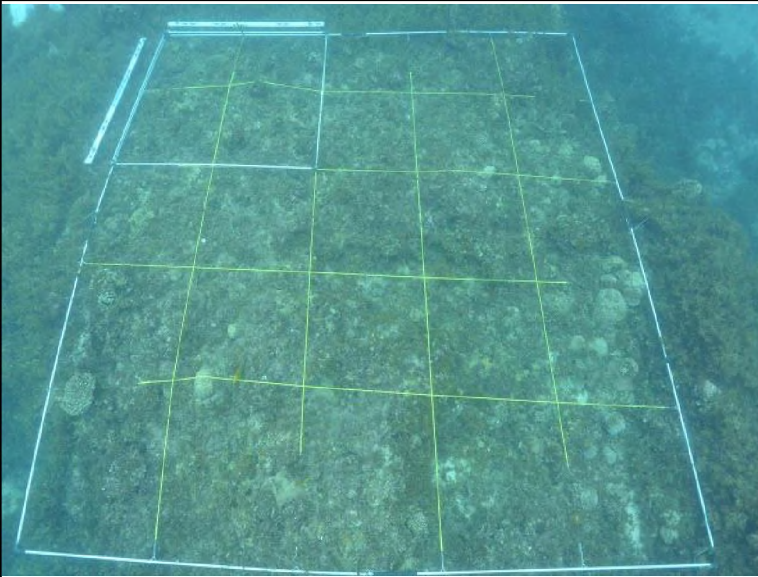

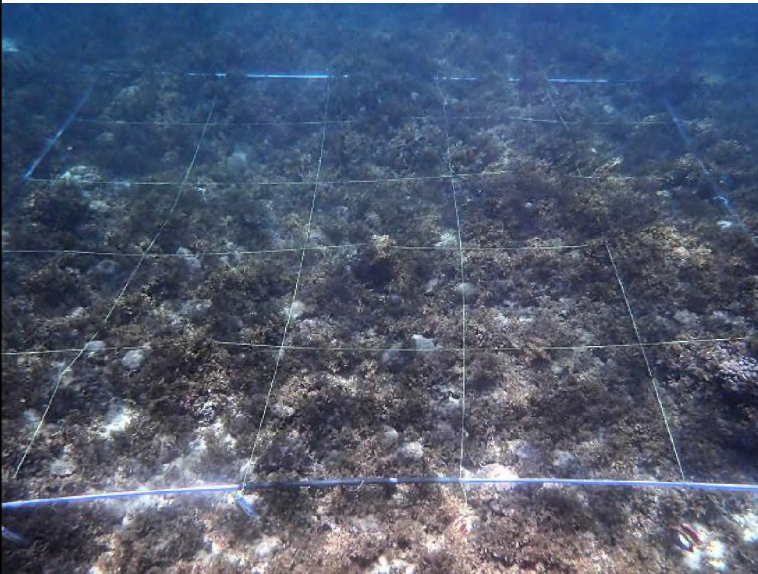
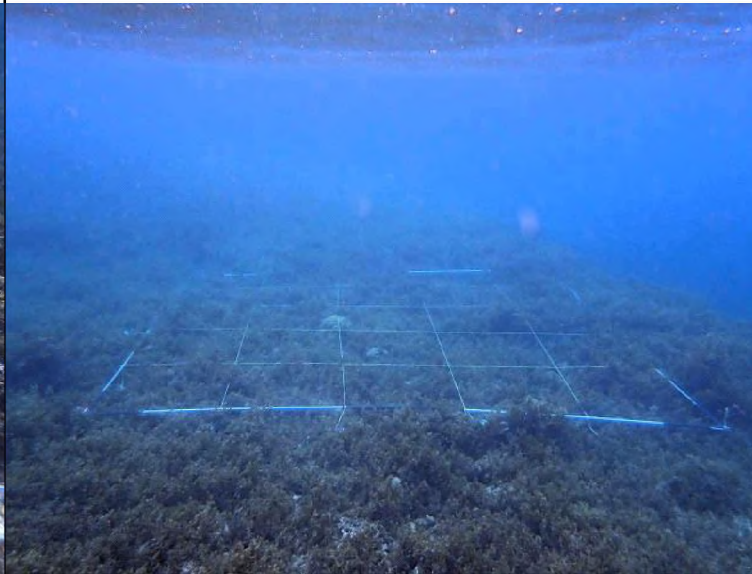
③ 移植したサンゴ類におけるモニタリング枠の状況について

1. 令和7年5月実施の小型サンゴ類(S1地区)臨時調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況
2. 令和7年4月実施の小型サンゴ類(S4地区・第1期)移植9ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況
3. 令和7年3月実施の小型サンゴ類(S4地区・第2期)移植3ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況
4. 令和7年5月実施のショウガサンゴ移植12ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況
5. 令和7年5月実施の大型サンゴ類(T1、T2地区・第1期)移植9ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況
6. 令和7年3月実施の大型サンゴ類(T1、T2地区・第2期)移植3ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況



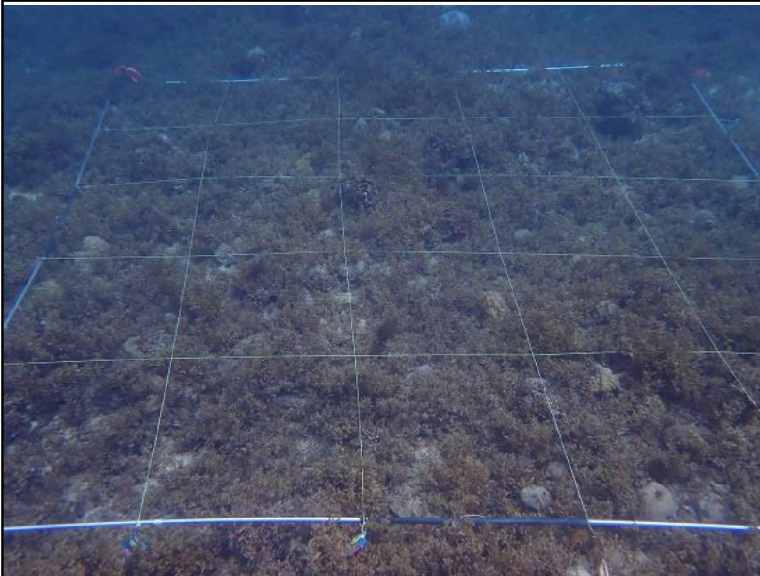

1. 令和7年5月実施の小型サンゴ類(S1地区)臨時調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(1/7)




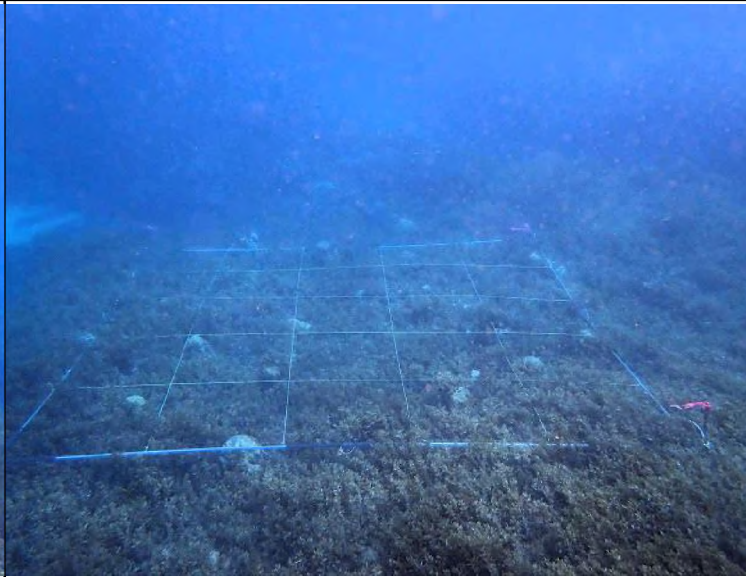

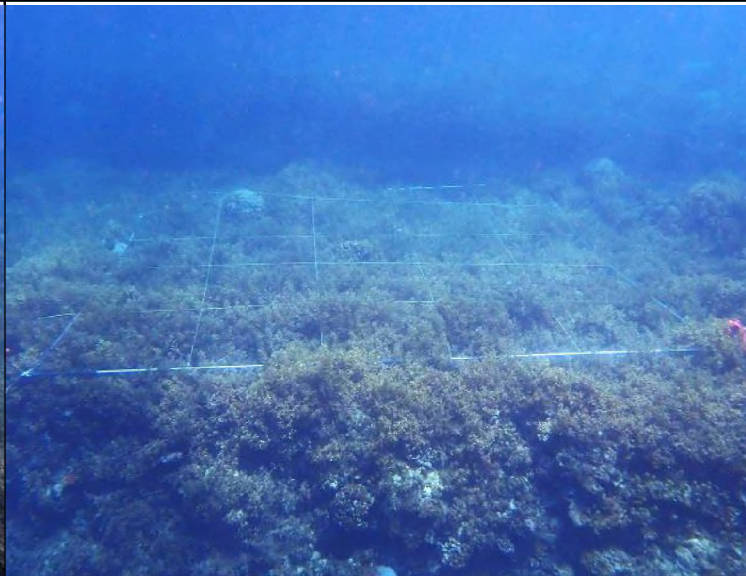
1. 令和7年5月実施の小型サンゴ類(S1地区)臨時調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(2/7)

地点名:S1-05 R7.5月臨時	地点名:S1-06 R7.5月臨時
	
地点名:S1-07 R7.5月臨時	地点名:S1-08 R7.5月臨時
	

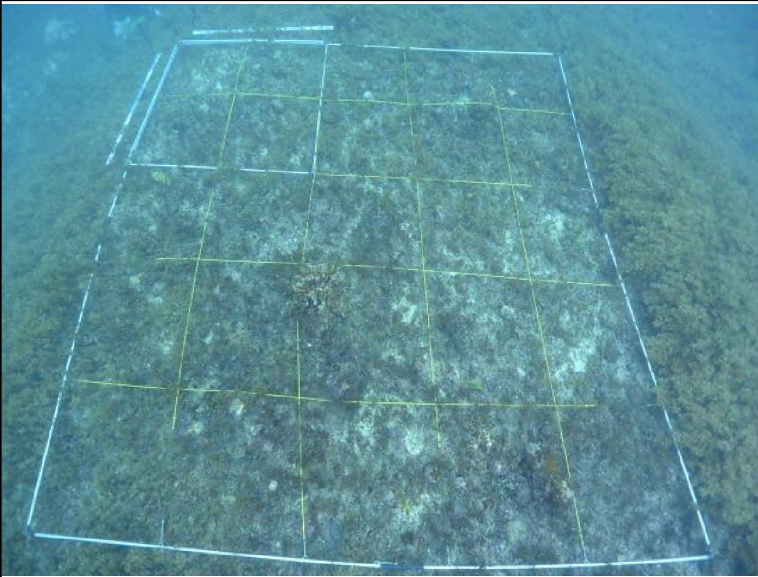
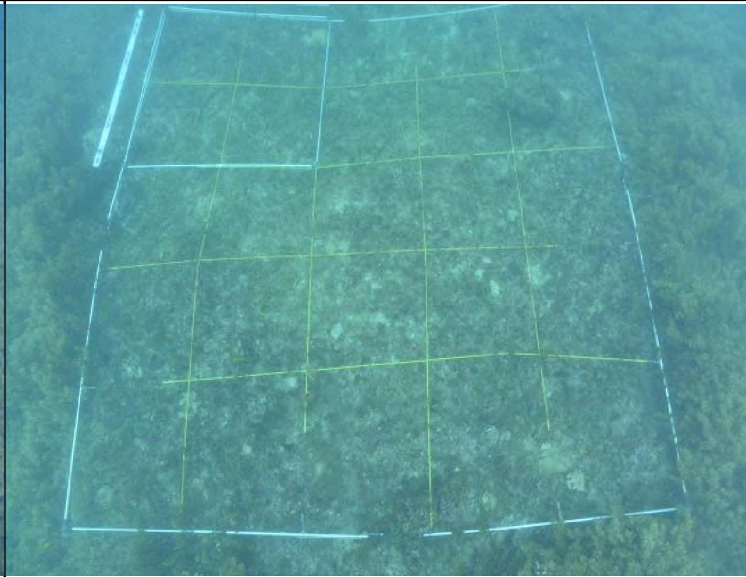
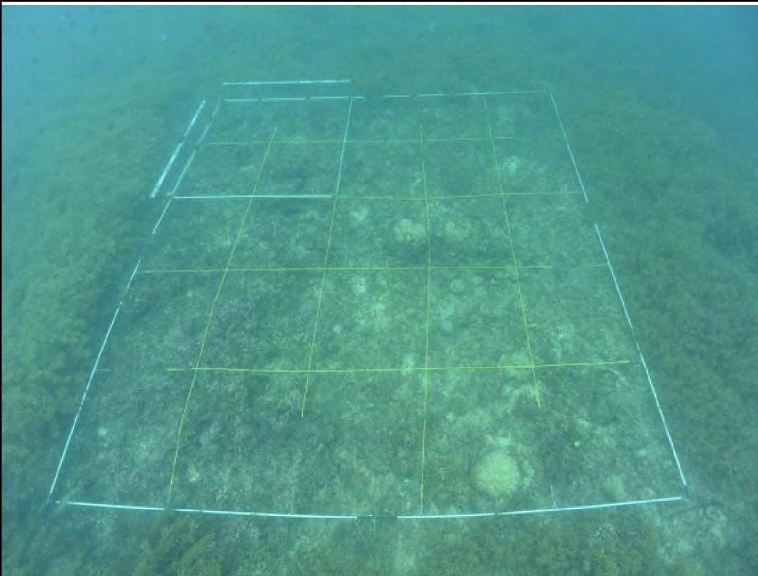
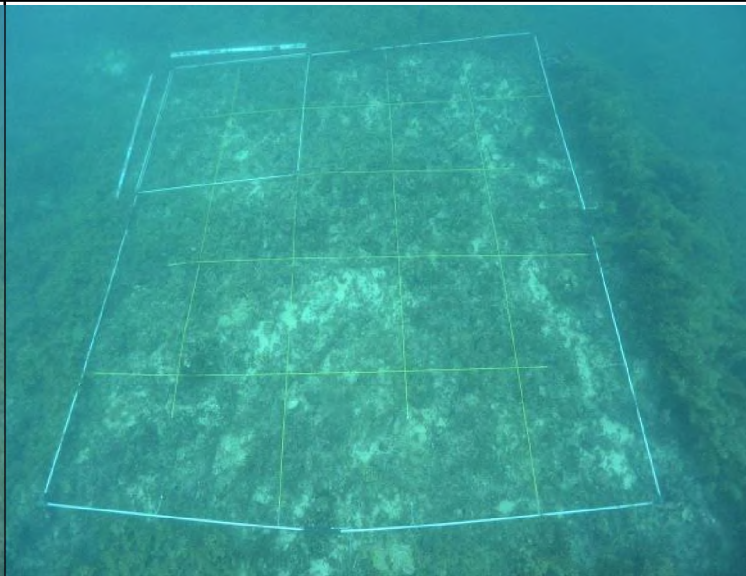
1. 令和7年5月実施の小型サンゴ類(S1地区)臨時調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(3/7)

地点名:S1-09 R7.5月臨時	地点名:S1-10 R7.5月臨時
	
地点名:S1-11 R7.5月臨時	地点名:S1-12 R7.5月臨時
	

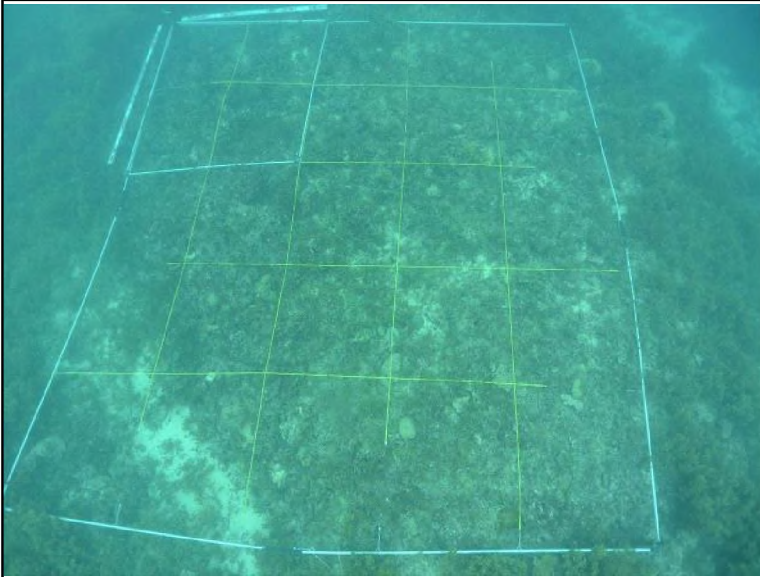
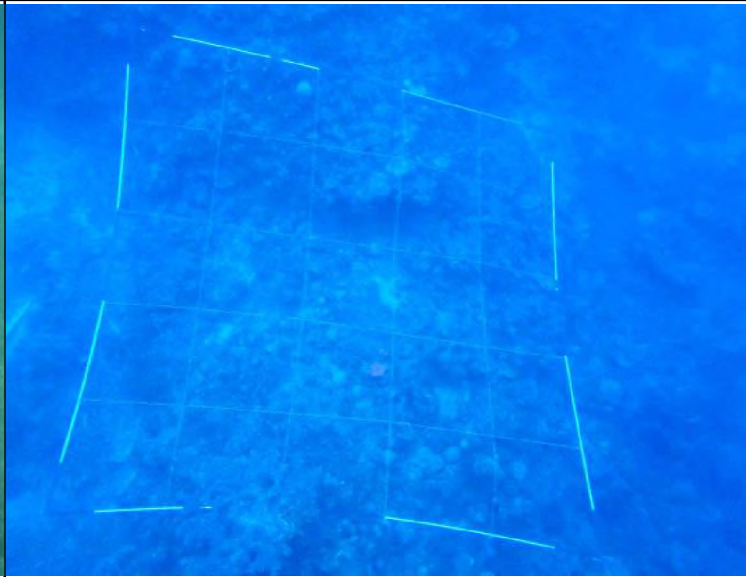
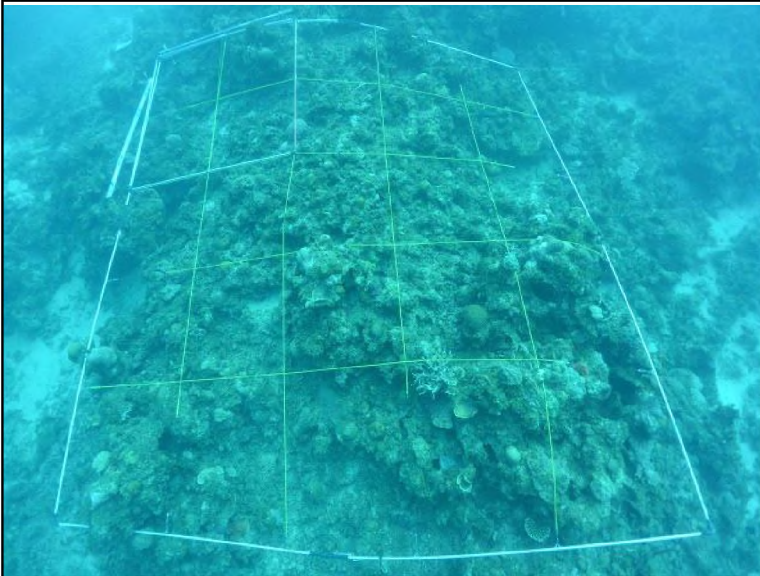

1. 令和7年5月実施の小型サンゴ類(S1地区)臨時調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(4/7)

地点名:S1-13 R7.5月臨時	地点名:S1-14 R7.5月臨時
	
地点名:S1-15 R7.5月臨時	地点名:S1-16 R7.5月臨時
	

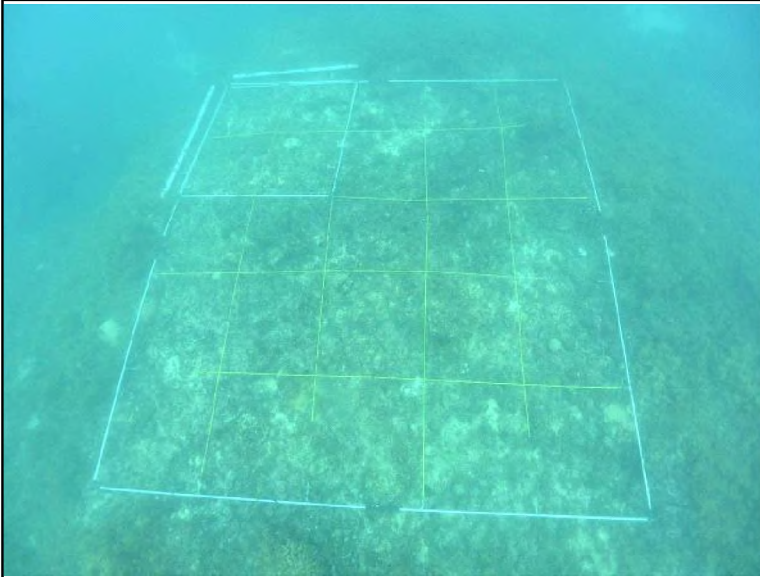
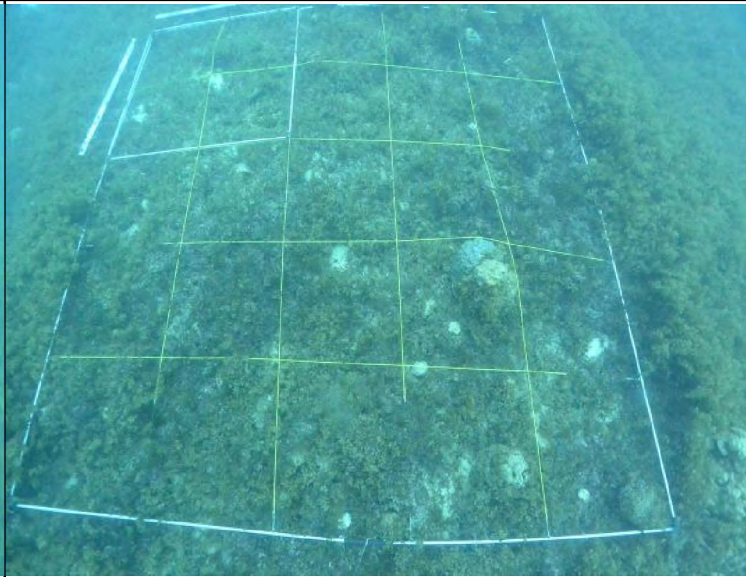


1. 令和7年5月実施の小型サンゴ類(S1地区)臨時調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(5/7)

地点名:S1-17 R7.5月臨時	地点名:S1-18 R7.5月臨時
	
地点名:S1-19 R7.5月臨時	地点名:S1-20 R7.5月臨時
	

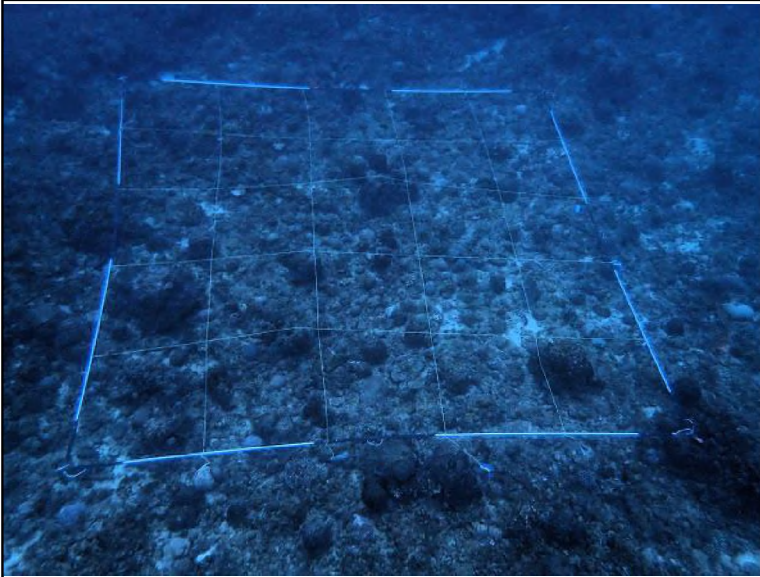
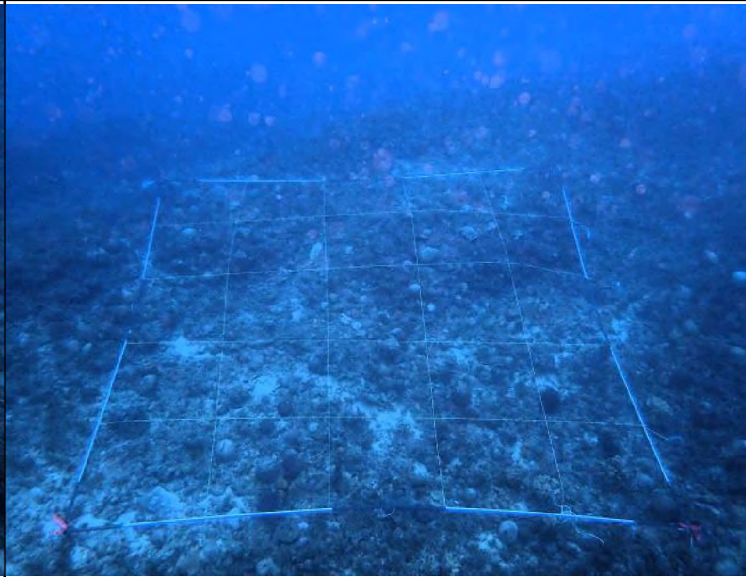
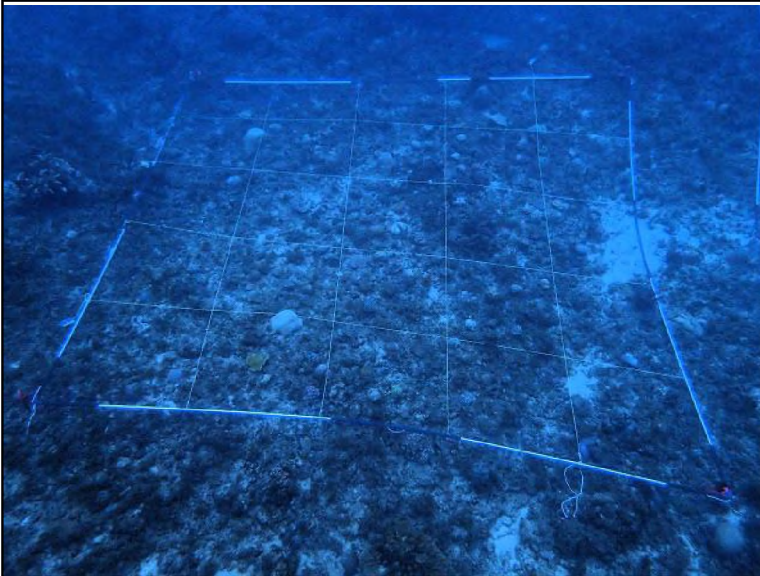
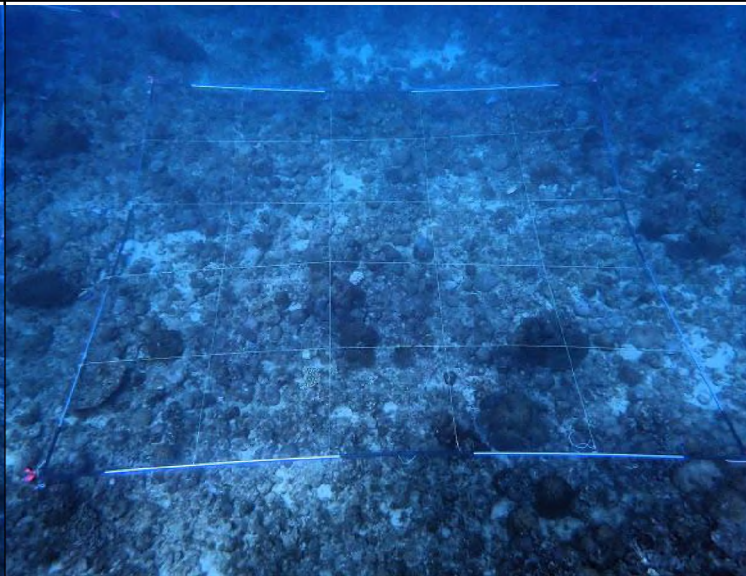
1. 令和7年5月実施の小型サンゴ類(S1地区)臨時調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(6/7)

地点名:S1-21 R7.5月臨時	地点名:S1-22 R7.5月臨時
	
地点名:S1-23 R7.5月臨時	地点名:S1-24 R7.5月臨時
	

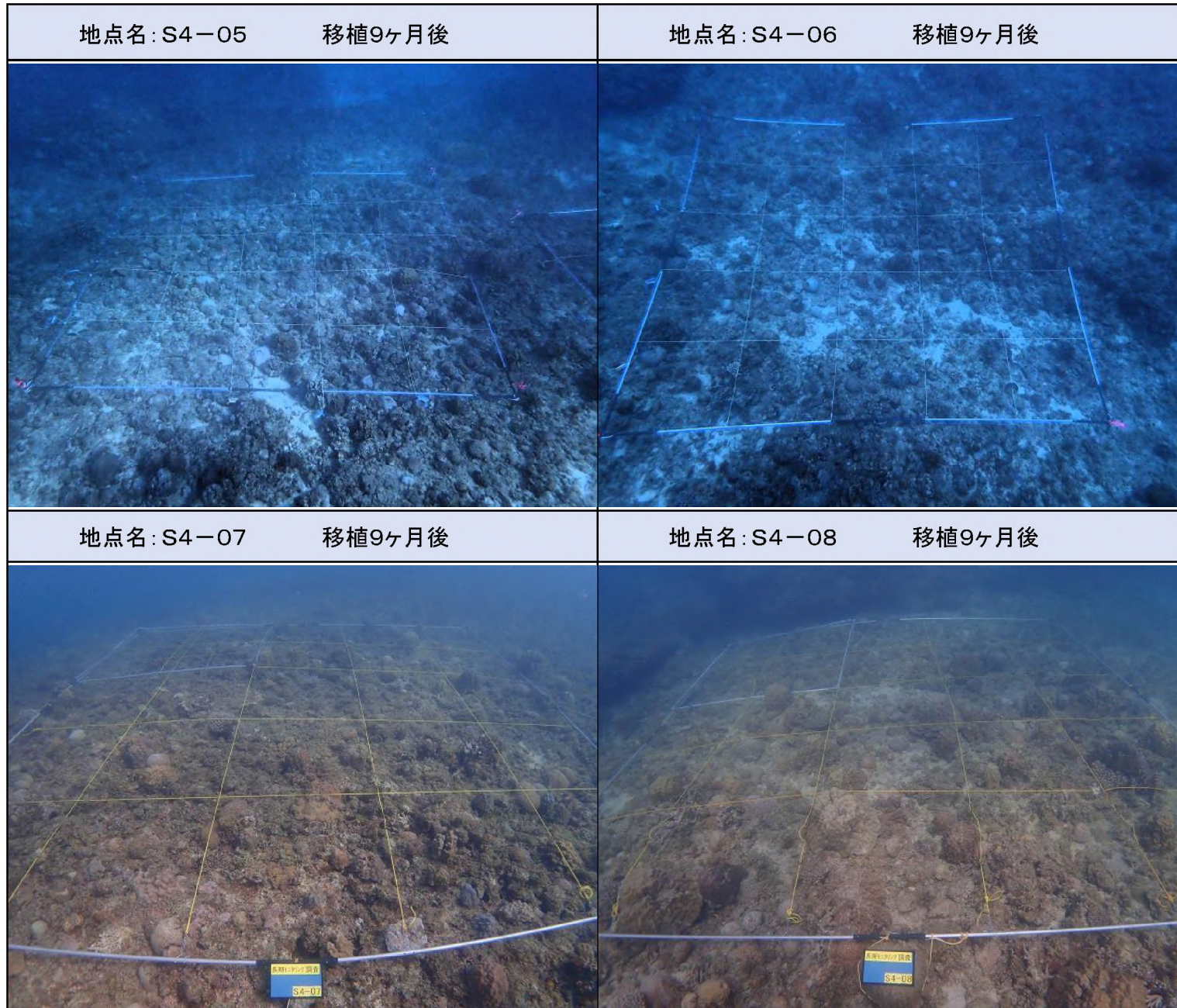
1. 令和7年5月実施の小型サンゴ類(S1地区)臨時調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(7/7)

地点名:S1-25 R7.5月臨時	地点名:S1-26 R7.5月臨時
	
地点名:S1-27 R7.5月臨時	地点名:S1-28 R7.5月臨時
	

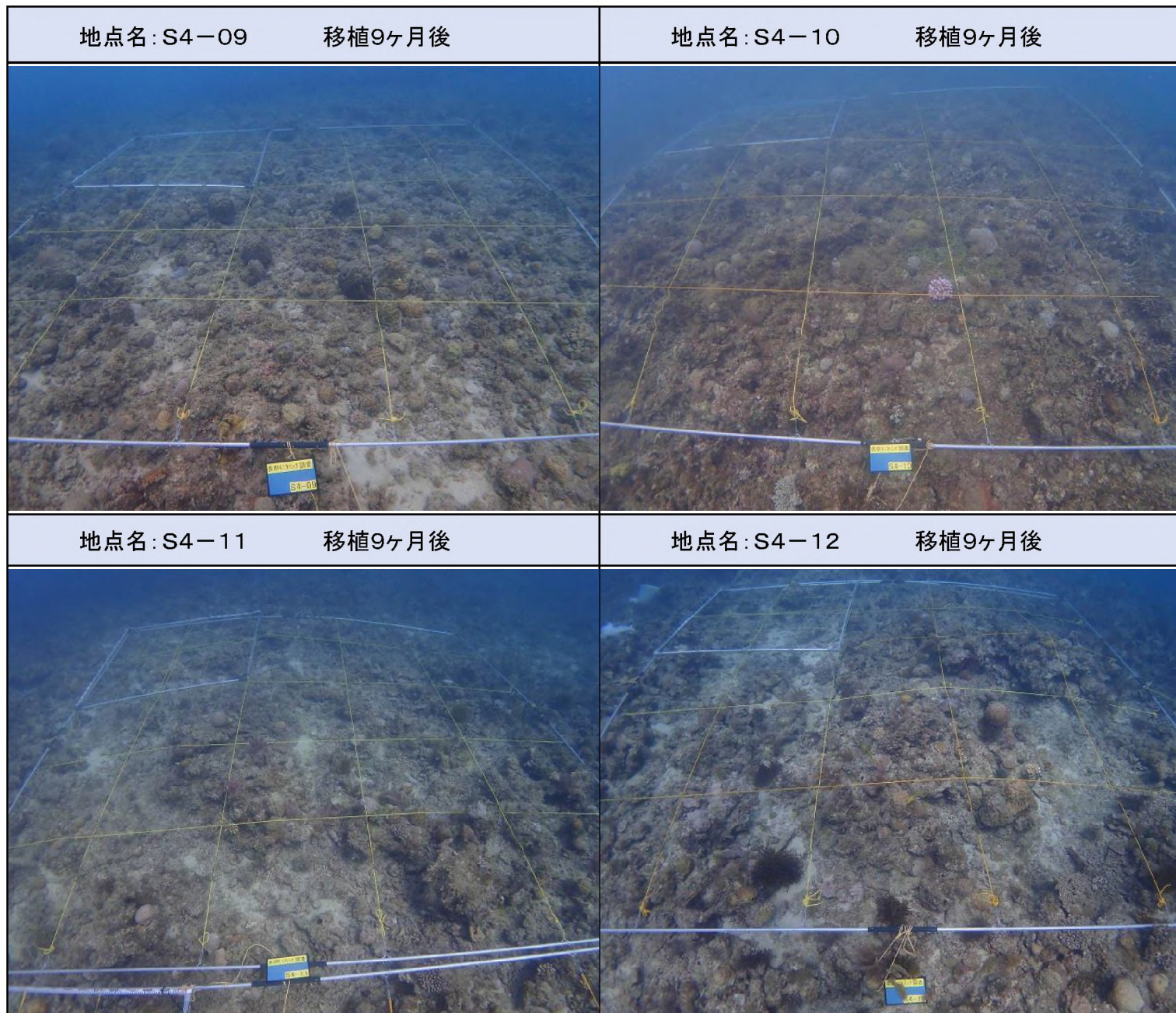
2. 令和7年4月実施の小型サンゴ類(S4地区・第1期)移植9ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(1/5)

地点名:S4-01 移植9ヶ月後	地点名:S4-02 移植9ヶ月後
	
地点名:S4-03 移植9ヶ月後	地点名:S4-04 移植9ヶ月後
	


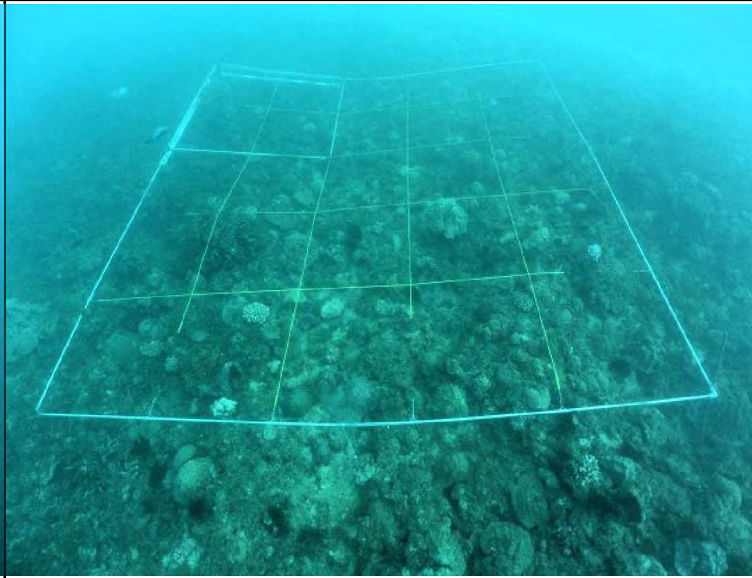


2. 令和7年4月実施の小型サンゴ類(S4地区・第1期)移植9ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(2/5)



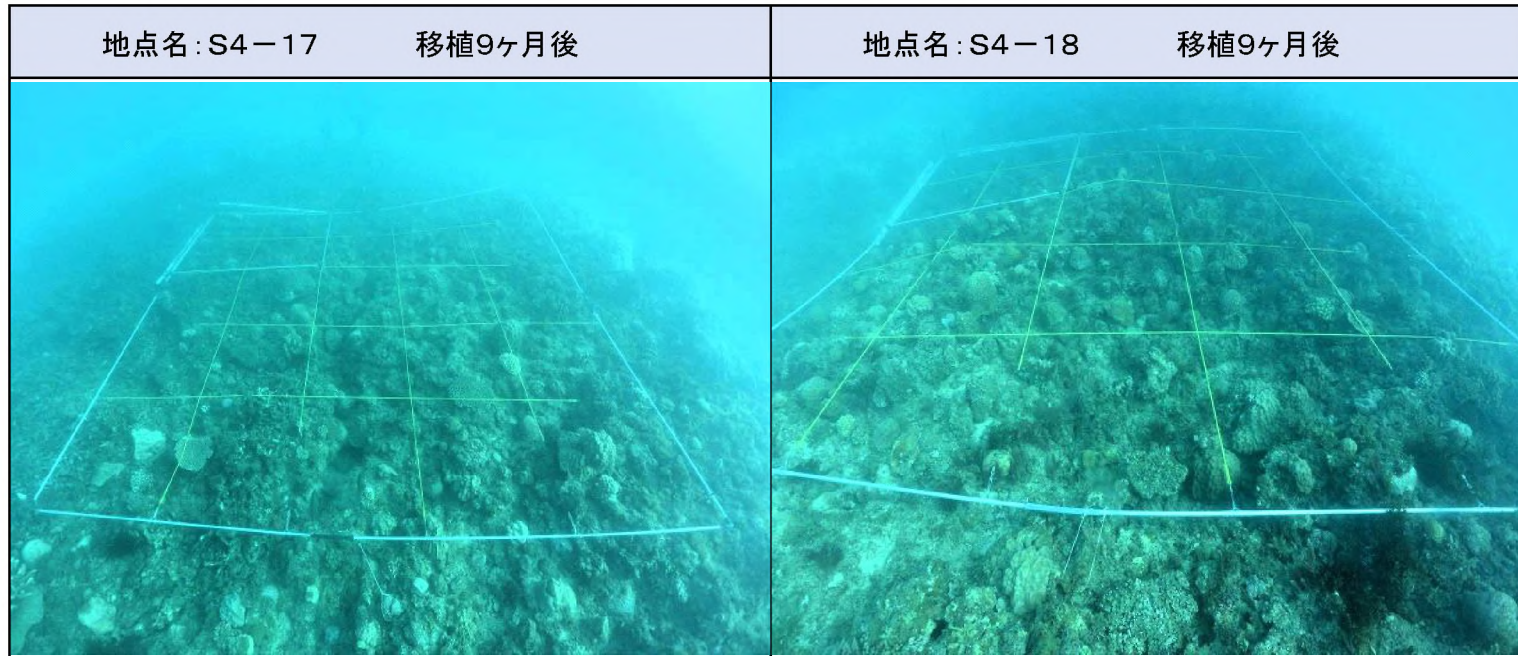
## 2. 令和7年4月実施の小型サンゴ類(S4地区・第1期)移植9ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(3/5)



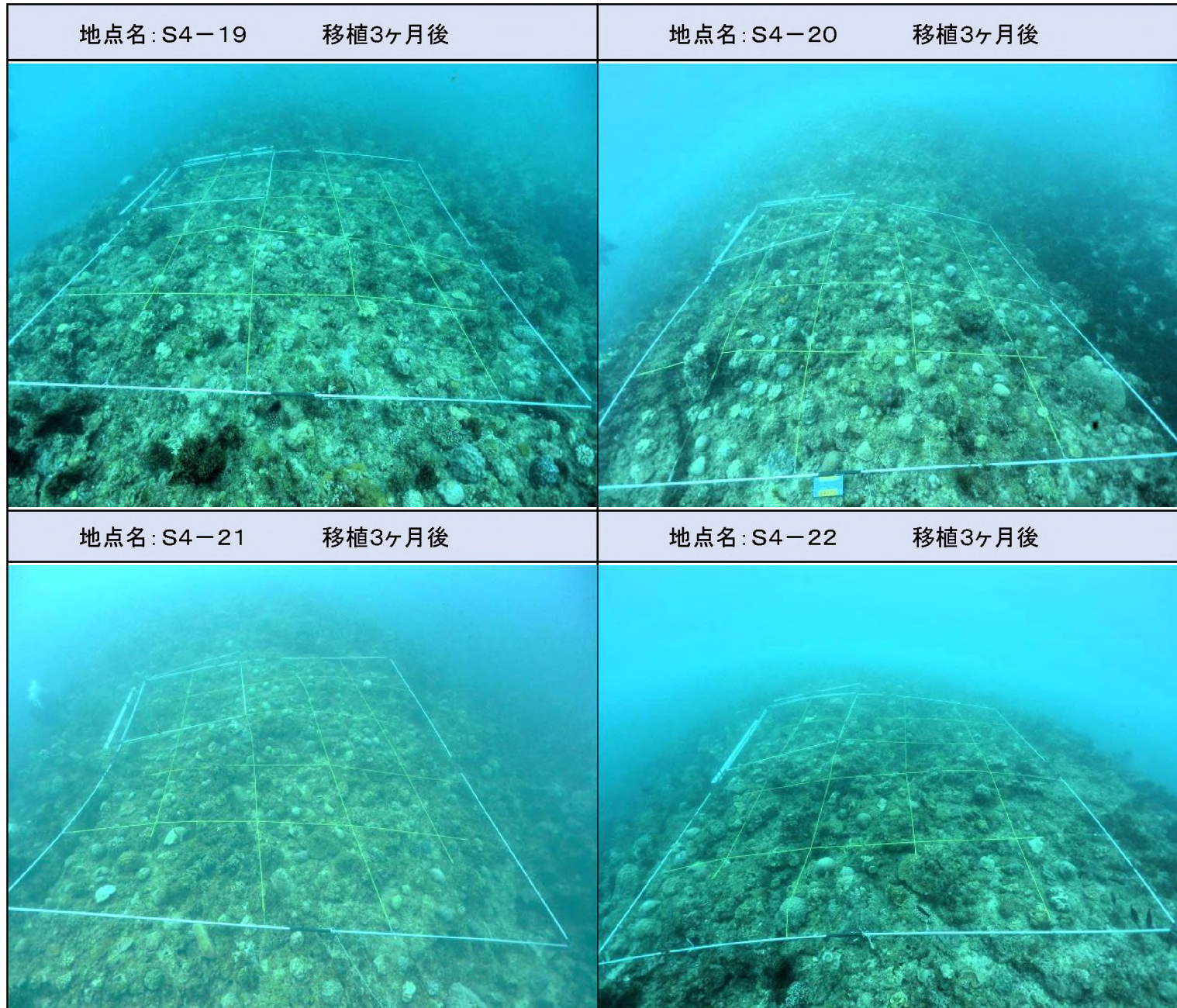
2. 令和7年4月実施の小型サンゴ類(S4地区・第1期)移植9ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(4/5)

地点名:S4-13 移植9ヶ月後	地点名:S4-14 移植9ヶ月後
	
地点名:S4-15 移植9ヶ月後	地点名:S4-16 移植9ヶ月後
	

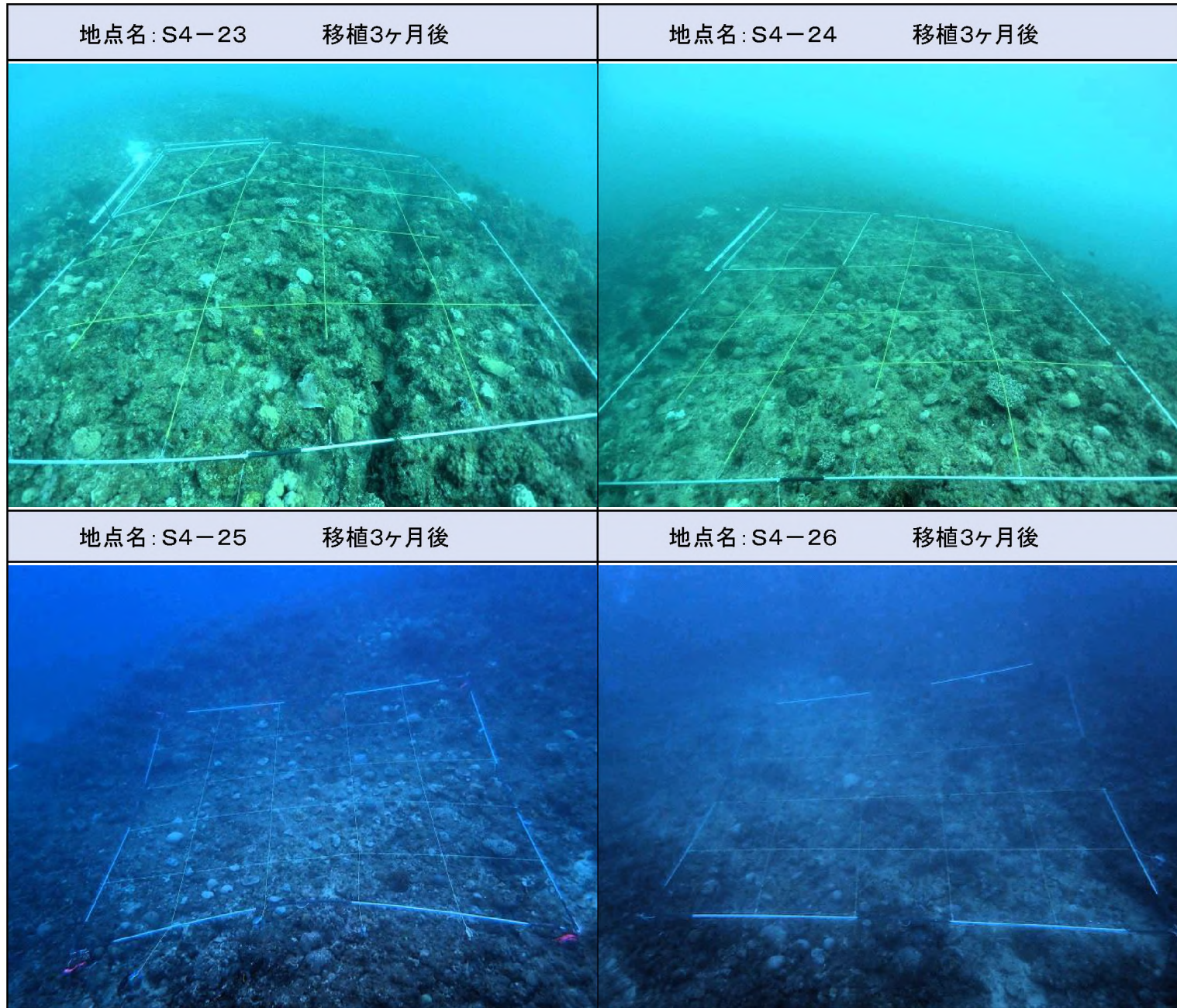
2. 令和7年4月実施の小型サンゴ類(S4地区・第1期)移植9ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(5/5)



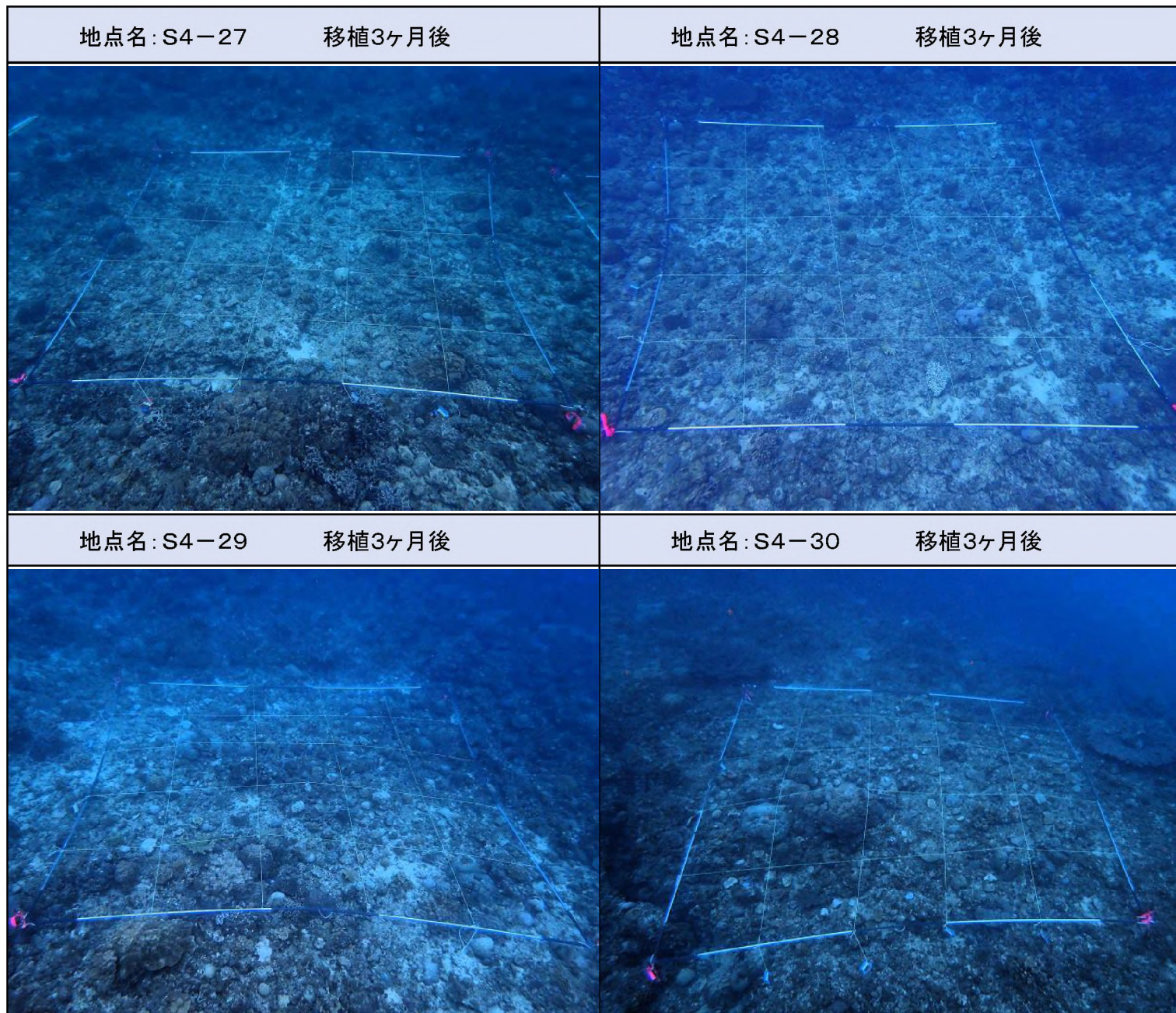
3. 令和7年3月実施の小型サンゴ類(S4地区・第2期)移植3ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(1/5)



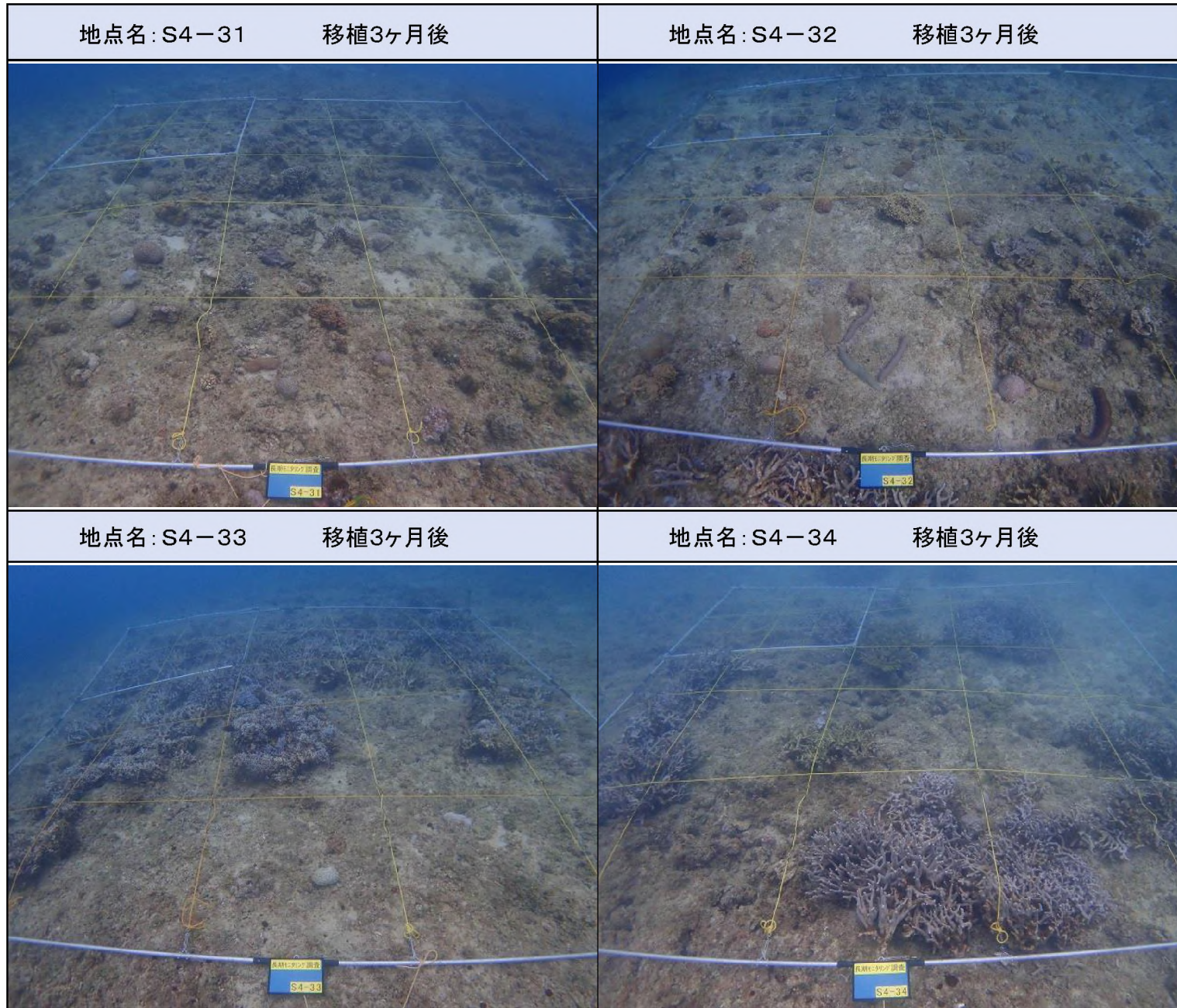
3. 令和7年3月実施の小型サンゴ類(S4地区・第2期)移植3ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(2/5)



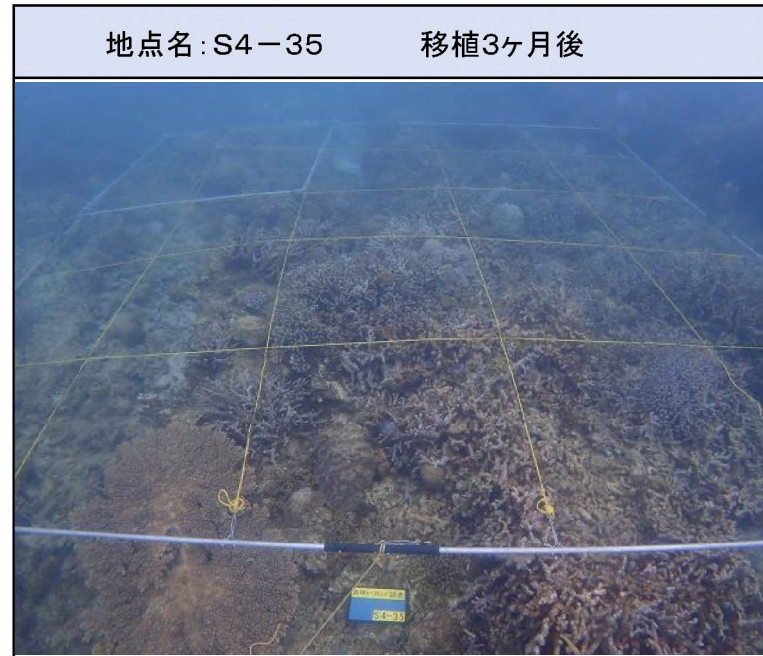
3. 令和7年3月実施の小型サンゴ類(S4地区・第2期)移植3ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(3/5)



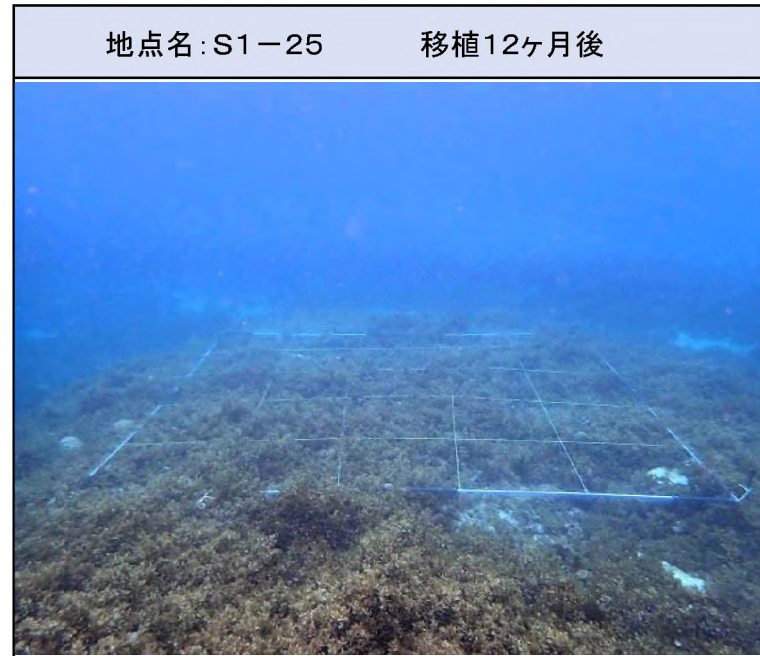
3. 令和7年3月実施の小型サンゴ類(S4地区・第2期)移植3ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(4/5)



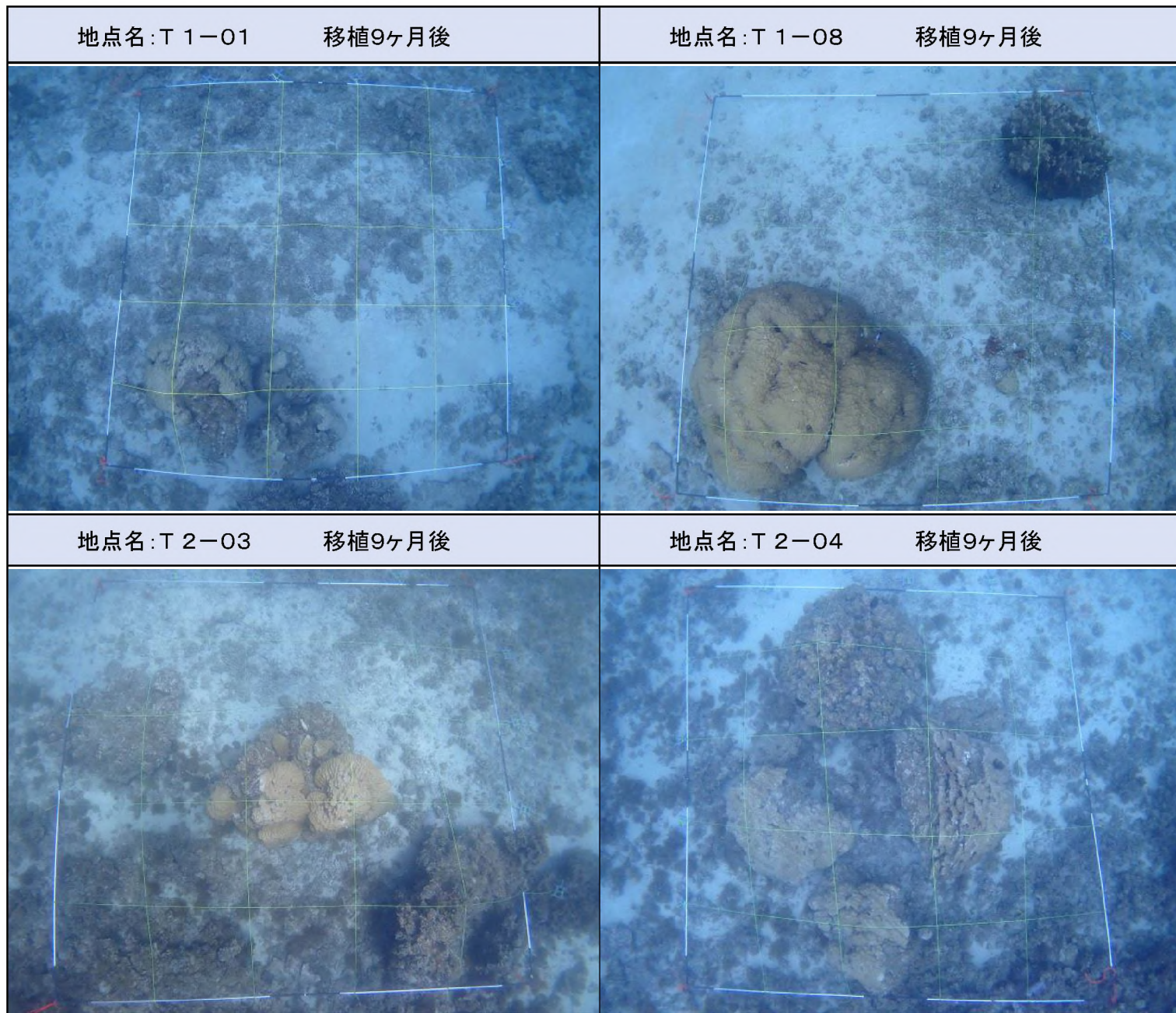
3. 令和7年3月実施の小型サンゴ類(S4地区・第2期)移植3ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(5/5)



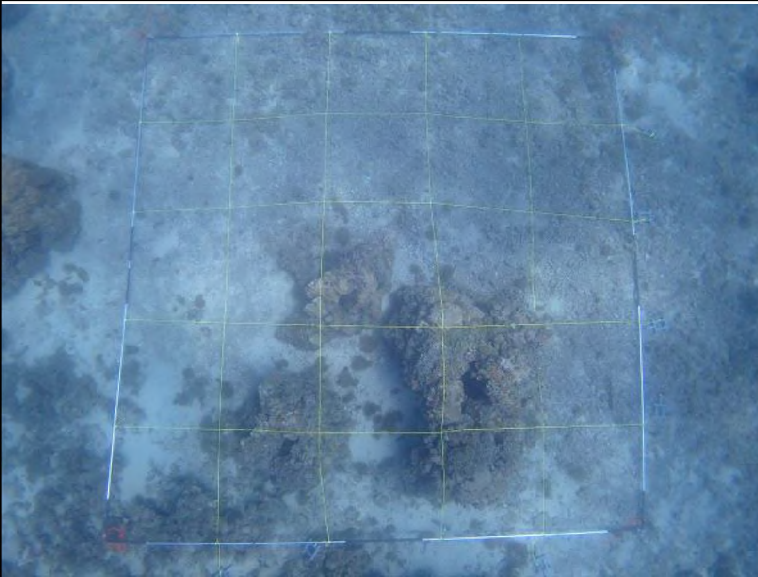
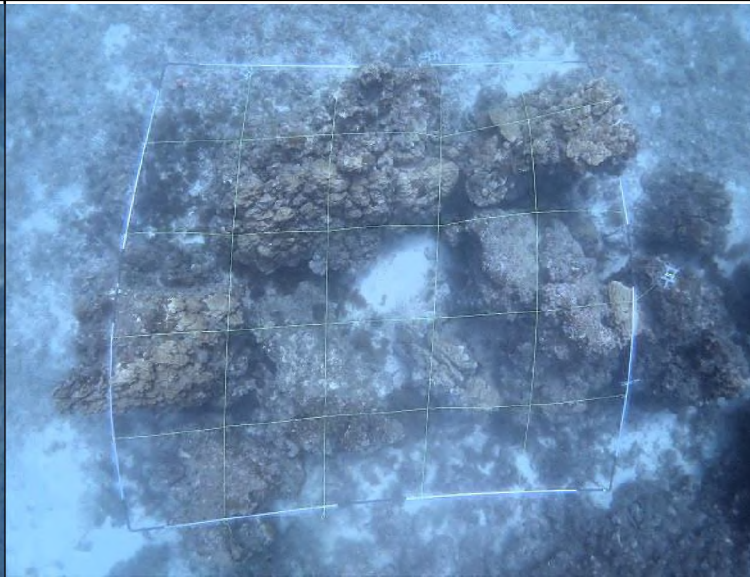
4. 令和7年5月実施のショウガサンゴ移植12ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(1/1)



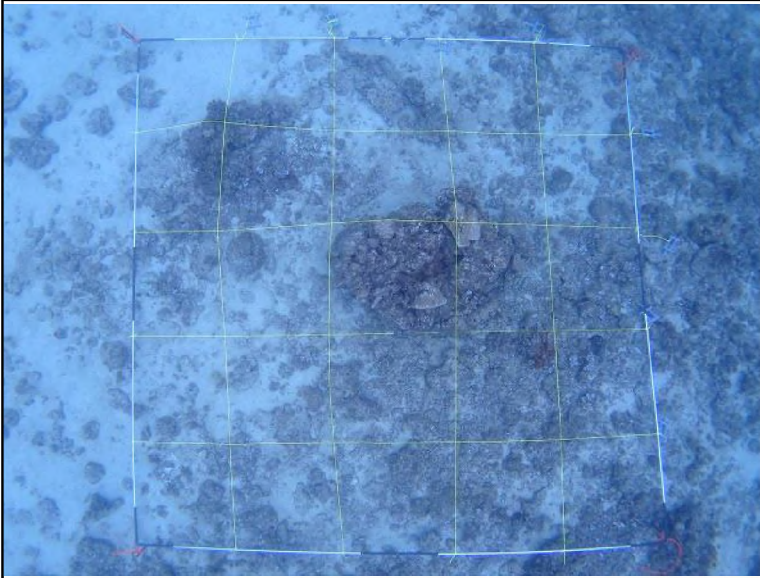
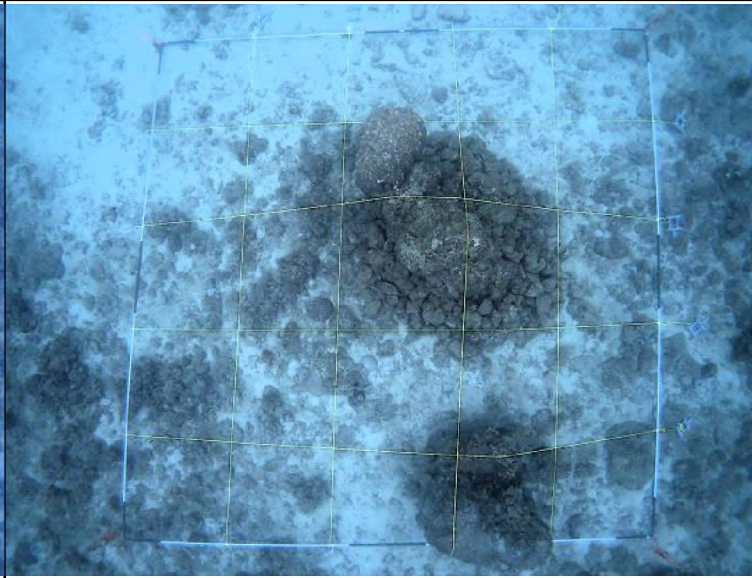
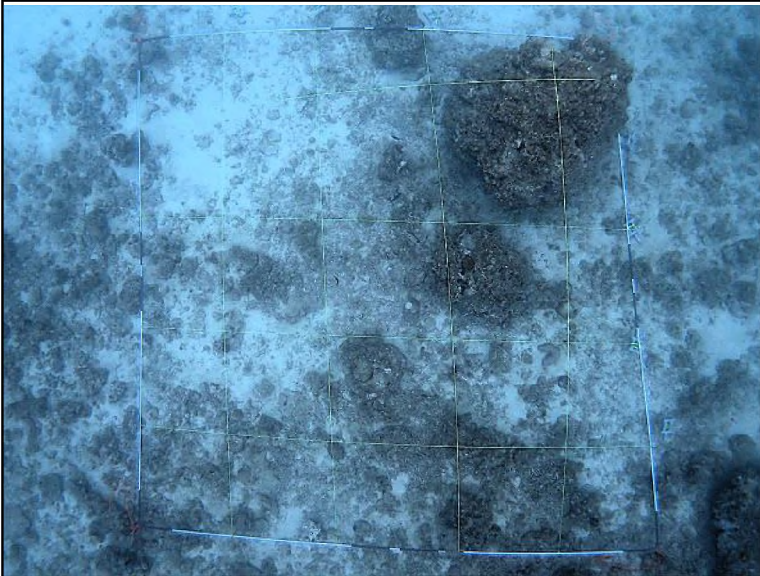
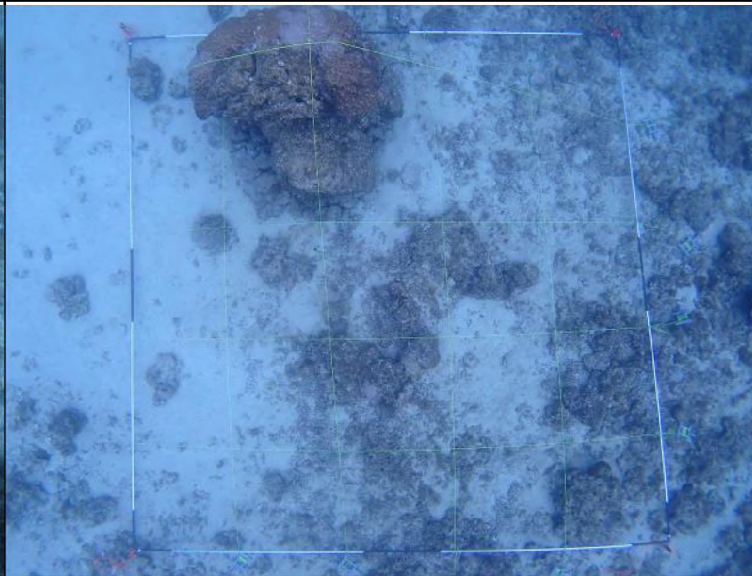
5. 令和7年5月実施の大型サンゴ類(T1、T2地区・第1期)移植9ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(1/2)



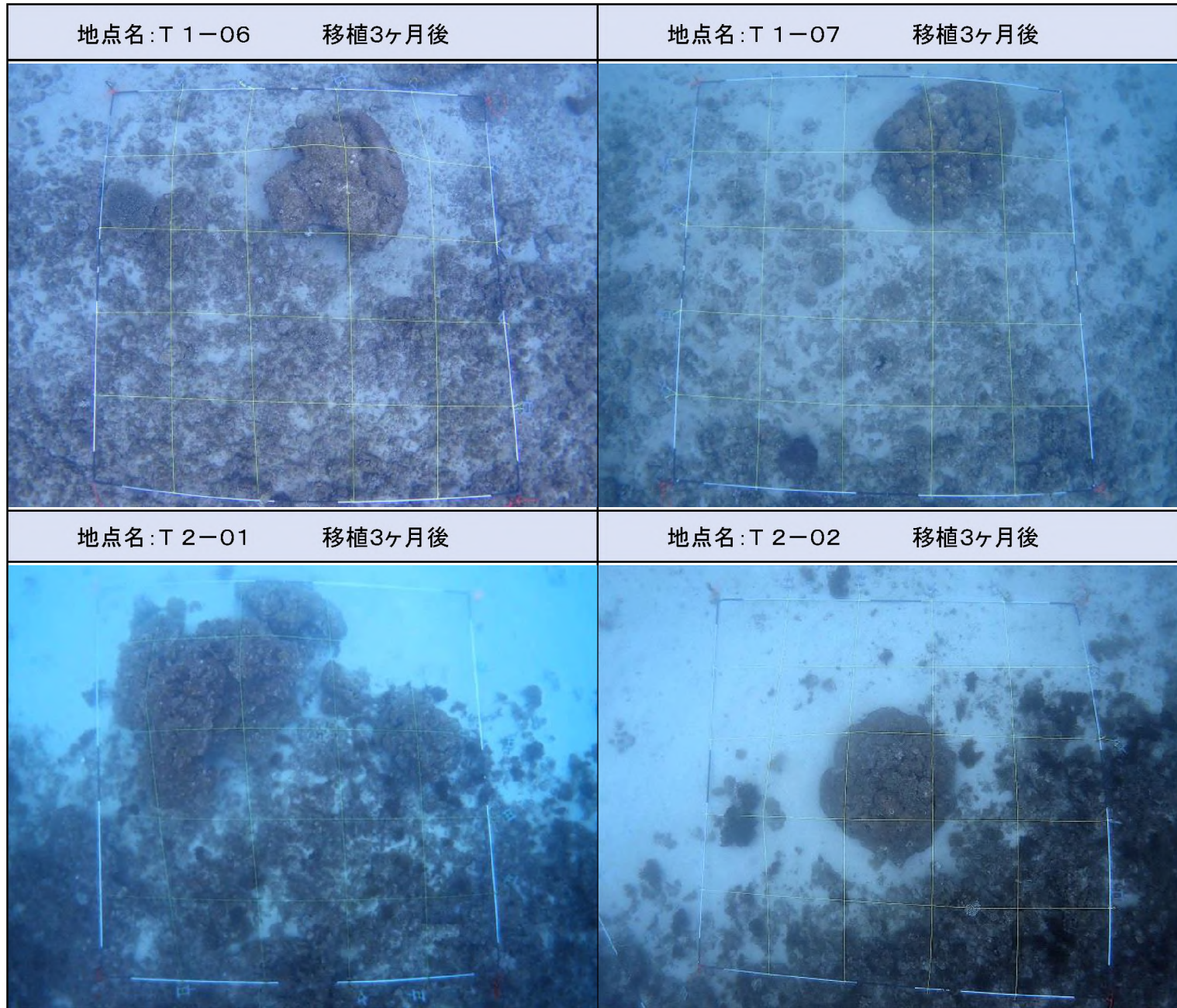
5. 令和7年5月実施の大型サンゴ類(T1、T2地区・第1期)移植9ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(2/2)

地点名:T 2-08 移植9ヶ月後	地点名:T 2-09 移植9ヶ月後
	

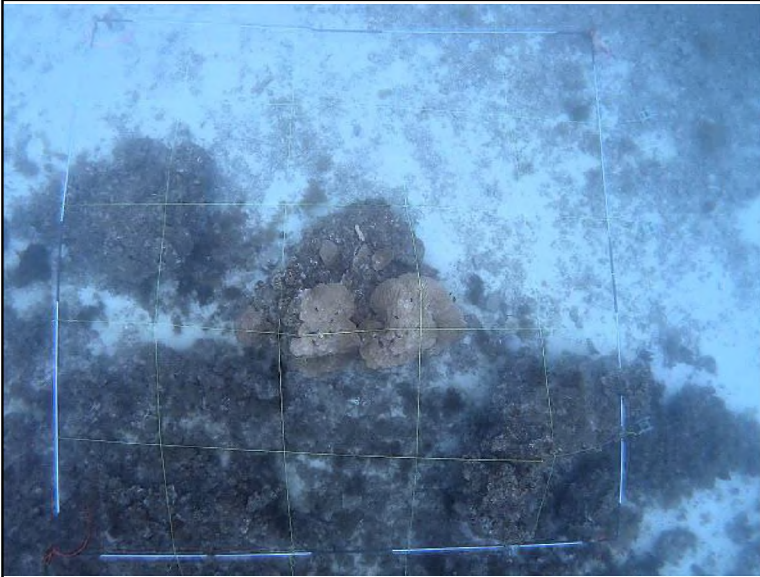
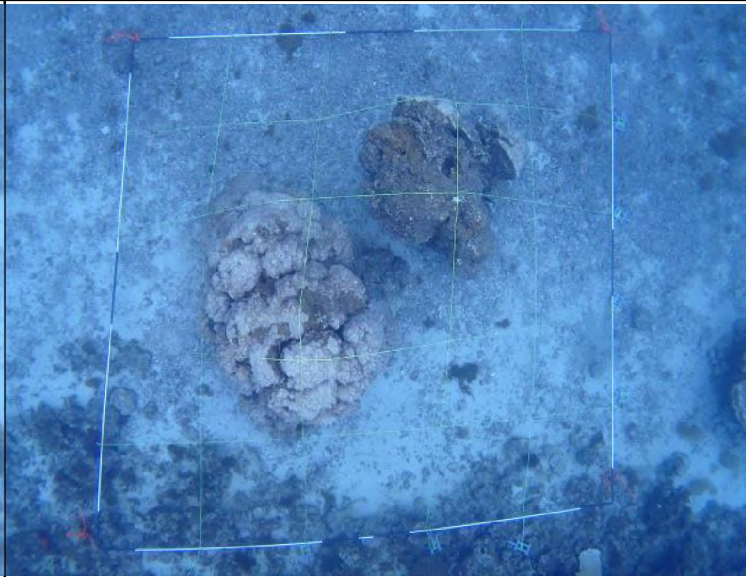
6. 令和7年3月実施の大型サンゴ類(T1、T2地区・第2期)移植3ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(1/3)

地点名:T 1-02 移植3ヶ月後	地点名:T 1-03 移植3ヶ月後
	
地点名:T 1-04 移植3ヶ月後	地点名:T 1-05 移植3ヶ月後
	

6. 令和7年3月実施の大型サンゴ類(T1、T2地区・第2期)移植3ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(2/3)



6. 令和7年3月実施の大型サンゴ類(T1、T2地区・第2期)移植3ヶ月後調査における全モニタリング枠(5m×5m)の状況(3/3)

地点名:T 2-03 移植3ヶ月後	地点名:T 2-05 移植3ヶ月後
	
地点名:T 2-06 移植3ヶ月後	地点名:T 2-07 移植3ヶ月後
